

2027年度

外国人留学生入学者選拔要項

音楽学部（A日程・B日程）

 武蔵野音楽大学

本学を志す皆さんへ

武蔵野音楽大学は、建学の精神を「〈和〉のこころ」と定め、それに基づいて「音楽芸術の研鑽^{けんさん}」と「人間形成」を教育の方針としています。

音楽を専門として志す者は広い知識を身につけ、たゆまぬ努力を続けて、もてる才能を常に磨かなければなりません。もちろん一人の人間として礼節を守り、自己に対して厳しく、協調性ある円満な人格が求められます。

真の音楽芸術は、その者の総合的な人間性が技量を通して表現されるものであって、安易な模倣や技巧のみへの偏重は、芸術とは言えないからです。

本学を志す皆さんは、《CAMPUS GUIDE 2027》を参考に、下記の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)をよく理解したうえで受験されるよう希望します。

武蔵野音楽大学は、本学の教育理念に共鳴し、本学での研鑽を望まれる皆さんを心から歓迎します。

武蔵野音楽大学では、建学の精神および教育方針に基づき、入学に際して求めている学修意欲と能力をアドミッション・ポリシーに定めています。そして、この方針に則り、公正かつ妥当な入学者選抜を行い、国内外から広く学生を受け入れています。

アドミッション・ポリシー

<外国人留学生入学者選抜>

武蔵野音楽大学の建学の精神「〈和〉のこころ」、および教育方針である「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」に共感する以下のような学修意欲と能力を備えた者を、学科(専攻)別試験、面接等による入学者選抜によって選抜します。

- 1 本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい、豊かな人間性を有する者。
- 2 音楽を主体的に学び深めることにより、音楽の美を探究する意欲のある者。
- 3 専攻の学修に必要な能力と基礎的学力、および思考力、判断力を備えた者。

アドミッション・ポリシーと試験科目との関連性

入学者選抜に際し、「日本語作文」の提出と「面接」を課しており、これらを通して、アドミッション・ポリシーに定めている「本学の建学の精神と教育方針のもとで学修するに相応しい、豊かな人間性を有する者」について確認しています。また、「音楽を主体的に学び深めることにより、音楽の美を探究する意欲」は「面接」や「課題小論文」、「口頭試問」、「日本語作文」等を通して確認しています。そして、「専攻の学修に必要な能力と基礎的学力、および思考力、判断力」については、演奏学科においては「専攻実技」、「面接」等により、音楽総合学科においては「実技」、「課題小論文」、「英文和訳」、「口頭試問」、「面接」等により、それぞれ審査し、評価しています。

第3年次入学志願者には学部第3年次からの学修に必要な学修意欲と能力を求めていますので、相応の水準で前述の試験により審査しています。

外国人留学生入学者選抜では、本学を志願した理由、留学終了後の進路等について述べた「日本語作文」および学修に必要な程度の日本語能力を、日本語による「面接」により確認しています。

入学前に共通して身につけておくことが期待される知識や能力等

- ・楽典や音楽理論の基礎的な知識
- ・ソルフェージュの基礎的な能力(歌う、聴く、読む、書く)
- ・英語4技能(読む、聞く、話す、書く)についての基礎的な力
- ・音楽・芸術文化について思考する力、判断する力、表現する力
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学修する態度
- ・日本語や日本事情などを主体的に学修する意欲

入学者に求める各学科・コースの専攻の学修に必要な意欲と能力

【演奏学科】

《器楽コース》

<有鍵楽器専修ピアノ専攻>

ピアノ独奏の学修に加え、伴奏・室内楽などのさまざまな演奏形態や、楽曲とその背景にある文化や歴史を学修し、豊かな表現力と演奏技術を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。ピアノ専攻者の学修には、ピアノの基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

<有鍵楽器専修オルガン専攻>

オルガン独奏の学修に加え、楽曲とその背景にある文化や歴史を学修し、幅広い時代のレパートリーを身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。オルガン専攻者の学修には、オルガンの基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

<管楽器専修>

専攻楽器の独奏の学修に加え、管楽合奏・管弦楽などのさまざまな演奏形態や、楽曲とその背景にある文化や歴史を学修し、豊かな表現力と演奏技術を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。管楽器専修者の学修には、専攻楽器の基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

<打楽器専修>

専攻楽器の独奏の学修に加え、打楽器合奏・管弦楽などのさまざまな演奏形態や、楽曲とその背景にある文化や歴史を学修し、豊かな表現力と演奏技術を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。打楽器専修者の学修には、専攻楽器の基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

<弦楽器専修>

専攻楽器の独奏の学修に加え、弦楽合奏・室内楽・管弦楽などのさまざまな演奏形態や、楽曲とその背景にある文化や歴史を学修し、豊かな表現力と演奏技術を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。弦楽器専修者の学修には、専攻楽器の基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《声楽コース》

古典から近現代に至るそれぞれの様式に沿った声楽曲の発声法と歌唱法の学修に加え、歌詞の正確な発音や語学力を修得します。独唱のみならずアンサンブル能力を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。声楽コースでの学修には、基礎的な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《ヴィルトゥオーゾコース》

幅広い知識と音楽性を養い、多くのレパートリーと高度でかつ長時間の演奏に堪えうる演奏能力を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。ヴィルトゥオーゾコースでの学修には、高度な演奏能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

【音楽総合学科】

《オープンメジャーシステム》

1年次において音楽総合学科内の4つのコースの基礎的な内容を幅広く学修し、その間に自分の適性や興味を確認する姿勢と、2年次からコースを選択して専門的な学修に取り組んでいこうとする意欲を持つ人材を求めています。オープンメジャーシステムでの学修には、基礎的な音楽の知識や演奏技術、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《作曲コース》

伝統的なクラシックの作曲法を学修するとともに、多様化する現代のニーズに合わせたポピュラーやジャズの作曲法、コンピュータを用いたDAWの音楽制作の技法を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。作曲コースでの学修には、基本的な作曲能力、ピアノの基礎的な演奏技術、口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《音楽学コース》

音楽学のさまざまな研究分野の考え方や研究の現状を資料調査・文献調査の調査学習等を通して視野を広げ、論文作成や口頭発表の手法を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。音楽学コースでの学修には、基礎的な音楽の知識や演奏技術、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《音楽教育コース》

音楽教育活動の基盤となる演奏技術の向上と、音楽教育に関する学問的な知識と実践力を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。音楽教育コースでの学修には、基礎的な音楽の知識や演奏技術、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

《アートマネジメントコース》

音楽芸術の力によって心豊かな活力ある社会を形成していくための、芸術的感性とマネジメント能力を身につけることにより、社会に貢献しようとする姿勢を持つ人材を求めています。アートマネジメントコースでの学修には、基礎的な音楽の知識や演奏技術、文章や口頭で自分の思考を他者に伝える能力、また、協調性・コミュニケーション能力を有していることが必要です。

目 次

I 外国人留学生入学者選抜

(A日程・B日程)

1. 募集学科・コース	3
2. 募集人員	4
3. 出願資格	4
4. 試験科目	5
5. 試験日程	6
6. 第1年次入学者選抜の併願について	7
7. 総合型選抜・一般選抜の ヴィルトゥオーゾコースの出願について	8
8. 出願手続	9
9. 合格発表	12
10. 入学前教育について	12

II 入学手続等

1. 入学手続	13
【在留資格「留学」について】	
2. 学費等について	14
3. 学生レジデンス Flügel のご案内	14
4. その他	14

ウェブ出願ガイド	15
----------	----

III 学科(専攻)別課題

第1年次入学者選抜課題

■演奏学科

器楽コース

有鍵楽器(ピアノ)	21
有鍵楽器(オルガン)	21
副科ピアノ	21
管楽器	22
打楽器	28
弦楽器	31
声楽コース	32
副科ピアノ	
器楽コース(管楽器・打楽器・弦楽器)・	
声楽コース	33

■音楽総合学科

オープンメジャーシステム	34
フィックスメジャーシステム	
作曲コース	35
音楽学コース	36
音楽教育コース	37
ピアノ	37
オルガン	37
管楽器	38
打楽器	42
弦楽器	44
声楽	44
アートマネジメントコース	44

■演奏学科

ヴィルトゥオーゾコース

有鍵楽器(ピアノ)	45
有鍵楽器(オルガン)	45
副科ピアノ	45
管楽器	47
副科ピアノ	54
打楽器	55
副科ピアノ	57
弦楽器	58
副科ピアノ	60
声楽	61
副科ピアノ	62

第3年次入学者選抜課題

■演奏学科

器楽コース

有鍵楽器(ピアノ)	63
有鍵楽器(オルガン)	63
副科ピアノ	63
管楽器	63
打楽器	63
弦楽器	64
声楽コース	64
副科ピアノ	
器楽コース(管楽器・打楽器・弦楽器)・	
声楽コース	64

■音楽総合学科

作曲コース	65
音楽学コース	65

I 外国人留学生入学者選抜(A日程・B日程)

武蔵野音楽大学音楽学部外国人留学生入学者選抜における出願手続および選考方法等は、この要項に定めるとおりです。

本学音楽学部卒業者には、「学士(音楽)」の学位が授与されます。

武蔵野音楽大学音楽学部の第1年次または第3年次に入学を希望する外国人志願者(留学の目的をもって日本に入国する者)に対して、本入学者選抜を実施し、これに合格した者の入学を許可します。

第3年次に入学を希望する者で、日本の短期大学を卒業した者または日本の大学の第2年次以上を修了した者は、本入学者選抜ではなく、日本人と同じ入学者選抜を受験しなければなりません。

第3年次に入学を希望する場合、その入学資格となる短期大学または大学等において、専攻した音楽の実技と同一の実技で出願することになります。

第1年次、第3年次留学生とも、入学は2027年4月からとなります。

1. 募集学科・コース

音楽学部(4年課程)第1年次

学科名	コース名および履修システム	専修等	専攻楽器名等
演奏学科	器楽コース	有鍵楽器	ピアノ、オルガン
		管楽器	フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ
		打楽器	マリンバ、打楽器、ティンパニ
		弦楽器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ
	声楽コース		
演奏学科	ヴィルトゥオーゾコース	有鍵楽器	器楽コースと同じ楽器
		管楽器	
		打楽器	
		弦楽器	
	声楽		
音楽総合学科	オープンメジャーシステム		
	フィックスメジャーシステム	作曲コース	
		音楽学コース	
		音楽教育コース	演奏学科と同じ楽器、声楽
		アートマネジメントコース	

※演奏学科ヴィルトゥオーゾコースでは高度な演奏能力が求められるため、難易度の高い入学者選抜となっており、専攻ごとの在學生は各学年とも数名です。

なお、ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合は、必ず器楽コースまたは声楽コースを併願してください(7ページ「6. 第1年次入学者選抜の併願について」を必ず確認してください)。

※音楽総合学科には「作曲コース」、「音楽学コース」、「音楽教育コース」、「アートマネジメントコース」の4つのコースがありますが、1年次においては、オープンメジャーシステムとフィックスメジャーシステムという2つの履修システムがあり、それぞれ履修の方法が異なります。

オープンメジャーシステム

1年次では特定のコースを決めず、4つのコースに関する基礎的内容を幅広く学修し、2年次からコースを選択して専門的な学修に取り組みます。

フィックスメジャーシステム

1年次からコースを決めて専門的な学修に取り組みます。

※演奏学科器楽コース、声楽コース、音楽総合学科作曲コース、音楽学コース、音楽教育コース、アートマネジメントコースを志望する場合は、第2志望としてオープンメジャーシステムを受験することができます(7ページ「6. 第1年次入学者選抜の併願について」を必ず確認してください)。

音楽学部(4年課程)第3年次

学科名	コース名	専修	専攻楽器名
演奏学科	器楽コース	有鍵楽器	ピアノ、オルガン
		管楽器	フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ
		打楽器	マリンバ、打楽器
		弦楽器	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ
音楽総合学科	声楽コース		
	作曲コース		
	音楽学コース		

※第3年次入学を志願する者に限り、第1年次入学を第2志望(同一の学科、コース)とすることができます。この場合、選考にあたっては第1志望、次に第2志望の順に合否判定を行います。

2. 募集人員

40名

3. 出願資格

1. 第1年次入学志願の場合

次の(1)～(4)に該当することが必要です。

- (1)日本国籍を有しない者。ただし、在留資格「永住者」を除く。
- (2)次の①～③のいずれかを満たす者。
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了し(2027年3月までに修了見込みの者を含む)、その国において大学入学資格を有する者。
 - ②外国において高等教育に対応する学校の課程で文部科学大臣が別に指定した者。
 - ③そのほか上記の者と同等以上の学力があると認められた者。
- (3)入学時に「留学」の在留資格を取得、またはこれに変更、更新できる者。
- (4)本学における勉学に支障のない程度の日本語能力を有する者。
(授業等はすべて日本語で行われます。)

2. 第3年次入学志願の場合

次の(1)～(4)に該当することが必要です。

- (1)日本国籍を有しない者。ただし、在留資格「永住者」を除く。
- (2)次の①、②のいずれかを満たす者。
 - ①外国において学校教育における12年の課程を修了し、さらに外国の大学等において2年以上の音楽専門課程を修了した者(2027年3月までに修了見込みの者を含む)。
 - ②そのほか上記の者と同等以上の学力があると認められた者。
- (3)入学時に「留学」の在留資格を取得、またはこれに変更、更新できる者。
- (4)本学における勉学に支障のない程度の日本語能力を有する者。
(授業等はすべて日本語で行われます。)

[出願資格に関する事前確認について]

第3年次入学を志願する場合は、出願の前に入学選抜事務室(学務課)において、修得(見込)科目・単位の確認および出願資格の有無について審査を行いますので、出身学校が発行した成績証明書の原本(日本語または英語1通)と、氏名、連絡先(電話番号またはメールアドレス)、志望学科・コース(実技名)を記入した任意の用紙を、A日程は8月7日(金)までに、B日程は9月18日(金)までに郵送もしくは窓口で提出してください。提出先は、9ページの出願書類郵送先と同じです。なお、出願資格の有無についての回答は、窓口で提出する場合でも、後日になります。

4. 試験科目

各学科・コース別に○印を付した試験を行います。

第1年次入学者選抜

演奏学科

コース	専攻実技		副科 ピアノ	面接	書類 審査
	器楽または声楽	ヴィルトゥオーゾ (器楽または声楽)			
器楽コース	○	—	○ (ピアノ専攻以外)	○	○
声楽コース	○	—	○	○	○
ヴィルトゥオーゾコース	○	○	○ (ピアノ専攻以外)	○	○

◇器楽コース、声楽コースを第1志望とする場合の専攻実技は、21～33ページの器楽コースまたは声楽コースの実技課題を受験してください。

◇ヴィルトゥオーゾコースを第1志望とする場合の専攻実技は、45～62ページの器楽コースまたは声楽コースに課せられた実技課題とヴィルトゥオーゾコース(器楽または声楽)に課せられた実技課題の両方を受験してください。

◇面接では事前に提出された日本語作文と、それに基づく面接試験により、日本語能力試験「N2」程度の能力があるかどうか審査します。

◇書類審査は出願時に提出された書類によって行います。

音楽総合学科

履修システム コース		課題 小論文	口頭 試問	専攻 課題	英文 和訳	実技	面接	書類 審査
オープンメジャーシステム		○	○	—	—	○ (器楽・声楽)	○	○
フィックス メジャー システム	作曲コース	—	○	○	—	○ (ピアノのみ)	○	○
	音楽学コース	○	○	—	○	○ (器楽・声楽)	○	○
	音楽教育コース	○	○	—	—	○ (器楽・声楽)	○	○
	アートマネジメントコース	○	○	—	—	—	○	○

◇面接では事前に提出された日本語作文と、それに基づく面接試験により、日本語能力試験「N2」程度の能力があるかどうか審査します。

◇書類審査は出願時に提出された書類によって行います。

◇アートマネジメントコースに実技試験はありませんが、入学後は本学で開講する楽器または声楽より1つの実技を選択し、履修することとなります。

第3年次入学者選抜

演奏学科

コース	専攻実技 (器楽または声楽)	副科 ピアノ	面接	書類 審査
器楽コース	○	○ (ピアノ専攻以外)	○	○
声楽コース	○	○	○	○

音楽総合学科

コース	課題 小論文	口頭 試問	専攻 課題	英文 和訳	実技	面接	書類 審査
作曲コース	—	○	○	—	○ (ピアノのみ)	○	○
音楽学コース	○	○	—	○	○ (器楽)	○	○

【演奏学科・音楽総合学科共通】

◇面接では事前に提出された日本語作文と、それに基づく面接試験により、日本語能力試験「N2」程度の能力があるかどうか審査します。

◇書類審査は出願時に提出された書類によって行います。

5. 試験日程

(1) 試験会場 武蔵野音楽大学 江古田キャンパス(東京都練馬区羽沢 1-13-1)

(2) 試験期間 A日程: 2026年10月24日(土)・25日(日)

B日程: 2026年12月12日(土)・13日(日)

(3) 試験日程

第1年次入学者選抜

学科・コース・履修システム・専修			A日程	10月24日(土)	10月25日(日)
			B日程	12月12日(土)	12月13日(日)
演奏学科	器楽コース	ピアノ	専攻実技		面接
		オルガン	専攻実技、副科ピアノ		面接
		管楽器	専攻実技、副科ピアノ		面接
		打楽器	専攻実技、副科ピアノ		面接
		弦楽器	専攻実技、副科ピアノ		面接
	声楽コース	専攻実技、副科ピアノ		面接	
	ヴィルトゥオーゾコース		器楽・声楽コースの専攻実技、副科ピアノ	ヴィルトゥオーゾコースの専攻実技、面接	
音楽総合学科	オープンメジャーシステム		課題小論文*、実技		口頭試問、面接
	フィックスメジャーシステム	作曲コース	専攻課題(和声・作曲)、実技		口頭試問、面接
		音楽学コース	課題小論文、英文和訳、実技		口頭試問、面接
		音楽教育コース	課題小論文、実技		口頭試問、面接
		アートマネジメントコース	課題小論文		口頭試問、面接

*上記のオープンメジャーシステムの課題小論文は第1志望のみ。第2志望でオープンメジャーシステムを受験する場合の課題小論文は出願時に提出(7ページ「6. 第1年次入学者選抜の併願について」を確認してください)。

第3年次入学者選抜

学科・コース・専修			A日程	10月24日(土)	10月25日(日)
			B日程	12月12日(土)	12月13日(日)
演奏学科	器楽コース	ピアノ	専攻実技		面接
		オルガン	専攻実技、副科ピアノ		面接
		管楽器	専攻実技、副科ピアノ		面接
		打楽器	専攻実技、副科ピアノ		面接
		弦楽器	専攻実技、副科ピアノ		面接
	声楽コース	専攻実技、副科ピアノ		面接	
音楽総合学科	作曲コース		専攻課題(和声)、実技		口頭試問、面接
	音楽学コース		課題小論文、英文和訳、実技		口頭試問、面接

【第1年次入学選抜・第3年次入学選抜共通】

◇試験日程の詳細(試験時間等)については、A日程は10月19日(月)に、B日程は12月4日(金)にウェブ出願サイトで登録したメールアドレスに送信する「受験要領」で必ず確認してください。

◇実技試験の伴奏者について

- ①実技試験において受験曲に伴奏を付けて受験する場合、伴奏楽器はピアノに限ります。
- ②第1年次の演奏学科声楽コース、ヴィルトゥオーゾコース(声楽)、音楽総合学科(作曲コースを除く)で実技が声楽、第3年次の演奏学科声楽コースの実技試験については、本学で選任した者がピアノ伴奏を担当するため伴奏者を同行する必要はありません。なお、希望により伴奏者を同行することができます。この場合、本学園に勤務する大学教職員を伴奏者とすることはできません。
- ③第1年次演奏学科ヴィルトゥオーゾコース(弦楽器)の実技試験における伴奏者については、58ページの注記(*)を確認してください。
- ④第3年次演奏学科器楽コース(弦楽器)の実技試験において、ピアノ伴奏のある曲で受験する場合には、実技試験当日伴奏者を必ず各自で同行してください。この場合、本学園に勤務する大学教職員を伴奏者とすることはできません。
- ⑤出願後に、やむをえず伴奏者を変更する場合は、A日程は10月9日(金)16:50までに、B日程は11月27日(金)16:50までに入学選抜事務室に申し出て許可を受けてください。それ以後の変更は原則として認めません。

◇A日程が不合格となった場合、改めてB日程に出願することができます。なお、その場合の出願書類はB日程の「志願票」のみ提出してください。その他の書類等はA日程を受験しているため提出不要です。受験曲目を変更することはできません。

ただし、A日程で第1志望ヴィルトゥオーゾコース、第2志望器楽コースまたは声楽コースともに不合格となった者で、B日程で器楽コースまたは声楽コースを第1志望とする場合は、入学選抜要項21～33ページの選抜課題における受験曲届も提出してください。

- ①ウェブ出願期間内にウェブ出願サイトにて情報を登録し、受験料の納入後に志願票をダウンロードし印刷してください。
- ②出願書類郵送期間内に郵送してください。なお、一旦提出された書類は返還しません。
- ③提出する書類に記入漏れや不備がないよう出願前に必ず確認してください。
- ④いかなる理由があっても出願期間内に書類が提出されない場合は受け付けませんので、ご注意ください。

6. 第1年次入学選抜の併願について

1. ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合は、器楽コースまたは声楽コースを併願しなくてはなりません。必ずヴィルトゥオーゾコースを第1志望とし、器楽コースまたは声楽コースは第2志望としてください。併願する場合は、それぞれ専攻楽器等を変えて受験することはできません。
ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合の試験課題は、45～62ページとなります。
2. 演奏学科器楽コース、声楽コース、音楽総合学科作曲コース、音楽学コース、音楽教育コース、アートマネジメントコースを志望する場合は、第2志望としてオープンメジャーシステムを受験することができます。併願する場合は、必ず演奏学科器楽コース、声楽コース、音楽総合学科作曲コース、音楽学コース、音楽教育コース、アートマネジメントコースを第1志望とし、オープンメジャーシステムは第2志望としてください。オープンメジャーシステムの試験科目は、課題小論文および口頭試問のみとなります。課題小論文は出願時に提出してください。提出要領については、10ページの出願書類を確認してください。なお、オープンメジャーシステムで合格した場合は、第1志望で受験した専攻実技または実技を入学後に履修することとなります。

7. 総合型選抜・一般選抜のヴィルトゥオーゾコースの出願について

総合型選抜・一般選抜でヴィルトゥオーゾコースを志願できるのは、第1年次外国人留学生入学者選抜A日程またはB日程でヴィルトゥオーゾコースを受験した者に限ります。

第1年次外国人留学生入学者選抜A日程でヴィルトゥオーゾコースを受験した場合

(1)外国人留学生入学者選抜A日程において、第2志望の演奏学科器楽コースまたは声楽コースに合格した者が、再度演奏学科ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合は、改めて総合型選抜第3回、第4回、一般選抜で演奏学科ヴィルトゥオーゾコース(同一専攻、単願)を受験することができます。その場合、総合型選抜第3回、第4回、一般選抜の試験科目および受験料は次のとおりです。なお、出願書類、試験科目等については、「2027年度 武蔵野音楽大学 音楽学部 第1年次 入学者選抜要項(総合型選抜第1回・第2回・第3回・第4回 / 一般選抜)」を必ず確認してください。

①総合型選抜第3回、第4回を受験する場合

出願条件：外国人留学生入学者選抜A日程の入学手続きが完了していること

試験科目：総合型選抜のすべての試験科目を受験

受験料：25,000円

出願書類：卒業(見込)証明書、成績証明書、パスポートのコピー、在留カードのコピー以外を提出

②一般選抜を受験する場合

出願条件：外国人留学生入学者選抜A日程の入学手続きが完了していること

試験科目：器楽コースまたは声楽コースの専攻実技の課題とヴィルトゥオーゾコースの専攻実技の課題のみを受験(一般選抜の専攻実技以外の科目(副科ピアノを含む)は免除)

受験料：25,000円

出願書類：卒業(見込)証明書、成績証明書、パスポートのコピー、在留カードのコピー以外を提出

(2)外国人留学生入学者選抜A日程の入学手続きを行っている場合、総合型選抜第3回、第4回、一般選抜のヴィルトゥオーゾコースの可否にかかわらず、合格が取り消されることはありません。

(3)総合型選抜第3回、第4回、一般選抜のヴィルトゥオーゾコースに合格した場合は、改めて入学金を納入する必要はありません。外国人留学生入学者選抜A日程で合格したコースの授業料との差額を納入していただきます(14ページのヴィルトゥオーゾコースの欄を参照)。

第1年次外国人留学生入学者選抜B日程でヴィルトゥオーゾコースを受験した場合

(1)外国人留学生入学者選抜B日程において、第2志望の演奏学科器楽コースまたは声楽コースに合格した者が、再度演奏学科ヴィルトゥオーゾコースを志望する場合は、改めて総合型選抜第4回、一般選抜で演奏学科ヴィルトゥオーゾコース(同一専攻、単願)を受験することができます。その場合、総合型選抜第4回、一般選抜の試験科目および受験料は次のとおりです。なお、出願書類、試験科目等については、「2027年度 武蔵野音楽大学 音楽学部 第1年次 入学者選抜要項(総合型選抜第1回・第2回・第3回・第4回 / 一般選抜)」を必ず確認してください。

①総合型選抜第4回を受験する場合

出願条件：外国人留学生入学者選抜B日程の入学手続きが完了していること

試験科目：総合型選抜のすべての試験科目を受験

受験料：25,000円

出願書類：卒業(見込)証明書、成績証明書、パスポートのコピー、在留カードのコピー以外を提出

②一般選抜を受験する場合

出願条件：外国人留学生入学者選抜B日程の入学手続きが完了していること

試験科目：器楽コースまたは声楽コースの専攻実技の課題とヴィルトゥオーゾコースの専攻実技の課題のみを受験(一般選抜の専攻実技以外の科目(副科ピアノを含む)は免除)

受験料：25,000円

出願書類：卒業(見込)証明書、成績証明書、パスポートのコピー、在留カードのコピー以外を提出

(2)外国人留学生入学者選抜B日程の入学手続きを行っている場合、総合型選抜第4回、一般選抜のヴィルトゥオーゾコースの可否にかかわらず、合格が取り消されることはありません。

(3)総合型選抜第4回、一般選抜のヴィルトゥオーゾコースに合格した場合は、改めて入学金を納入する必要はありません。外国人留学生入学者選抜B日程で合格したコースの授業料との差額を納入していただきます(14ページのヴィルトゥオーゾコースの欄を参照)。

8. 出願手続

手続方法等の詳細については、ウェブ出願ガイド(15～20ページ)を確認してください。

(1) 出願期間・受験料・郵送先等

出 願 期 間	A 日程	ウェブ出願(情報登録)期間：2026年9月23日(水・祝)10:00から9月30日(水)23:59まで 出願書類郵送期間：2026年9月23日(水・祝)消印から10月2日(金)必着まで(郵送受付のみ)
	B 日程	ウェブ出願(情報登録)期間：2026年11月11日(水)10:00から11月18日(水)23:59まで 出願書類郵送期間：2026年11月11日(水)消印から11月20日(金)必着まで(郵送受付のみ)
※日本国内から郵送の場合はレターパックライトで、日本国外から郵送の場合はEMSで郵送してください。		
出 願 の 流 れ	①提出書類(各証明書・作文等)の準備 ②志願者の基本情報登録 ③顔写真データのアップロード、出願情報の登録 ④受験料の納入 ⑤出願書類の印刷、記入、郵送	
受 験 料	第1年次	①演奏学科 器楽コース・声楽コース } 40,000 円 音楽総合学科 ②演奏学科 ヴィルトゥオーゾコース 45,000 円 * ヴィルトゥオーゾコースまたはオープンメジャーシステムを併願する場合も受験料は同額です。併願する場合は、第1志望の受験料を納入してください。
	第3年次	40,000 円
受験料の納入について(18、19ページ)を確認してください。 * クレジットカード、コンビニエンスストア、ペイジーの決済方法の中からいずれかを選び、受験料を納入してください。なお、日本国外から出願する場合は、クレジットカードでの決済のみとなります。 * 受験料の他に別途事務手数料が必要となります。 * 一旦納入された受験料は返還しません。		
出 願 書 類 郵 送 先	武蔵野音楽大学 入学者選抜事務室(学務課) 〒176-8521 東京都練馬区羽沢 1-13-1 TEL 03-3992-1119(直通) Academic Affairs Department, Musashino Academia Musicae: Admissions Office 1-13-1, Hazawa, Nerima-ku, Tokyo, 176-8521, Japan TEL +81-3-3992-1119(direct number)	

(2) 出願書類

① 志願票	ウェブ出願サイトにて情報を登録し、受験料の納入後に志願票をダウンロードし印刷してください。
② 学歴等・受験曲届	ウェブ出願サイトにて外国人留学生入学者選抜大学音楽学部の「出願書類」をダウンロードおよび印刷し、消えない黒のボールペンを使用して、必ず本人が手書きで記入してください。 ヴィルトゥオーゾコース志願者は受験曲届には記入せず、③ヴィルトゥオーゾコース受験曲届に記入してください。 出願書類ダウンロード期間：(A日程)8月1日～9月30日 (B日程)8月1日～11月20日
③ ヴィルトゥオーゾコース 受験曲届	ヴィルトゥオーゾコース志願者は提出してください。 ②と同様にウェブ出願サイトにてダウンロードおよび印刷し、消えない黒のボールペンを使用して、必ず本人が手書きで記入してください。
④ 日本語作文	②と同様にウェブ出願サイトにてダウンロードし、印刷してください。 本学を志願した理由、留学終了後の進路等について、消えない黒のボールペンを使用し、800字程度の日本語で本人が手書きで作成してください(パソコン等で作成したものは不可)。 ※ AIで作成することはしないでください。AIで作成したことが確認された場合、失格となる場合があります。
⑤ オープンメジャーシステム 課題小論文	第1年次志願者で、第2志望をオープンメジャーシステムで志願する場合は提出してください。 ②と同様にウェブ出願サイトにてダウンロードおよび印刷し、消えない黒のボールペンを使用して、800字程度の日本語で本人が手書きで作成してください(パソコン等で作成したものは不可)。 課題小論文の詳細については、34ページのオープンメジャーシステムの課題を必ず確認してください。
⑥ ピアノ伴奏用楽譜	第1年次演奏学科声楽コース、ヴィルトゥオーゾコース(声楽)、第3年次演奏学科声楽コース志願者で、実技試験時に本学で選任した者によるピアノ伴奏を必要とする場合のみ(伴奏者を同行する場合は提出不要)。なお、第1年次の志願者は次の課題について提出してください。 声楽コース：自由曲1曲(32ページ) ヴィルトゥオーゾコース：声楽コース課題 B 自由曲1曲(61ページ)、ヴィルトゥオーゾコース課題 A 課題曲2曲、 B 課題曲2曲、 C 自由曲1曲(62ページ) A4サイズ(縦)を1ページとし、コピーが鮮明な楽譜を提出してください。 伴奏に便利のように、開きやすく製本してください。製本に厚紙は使用しないでください。 表に曲名・氏名・声種を書いてください。また、声楽コースのみ志願の場合は自由曲を、ヴィルトゥオーゾコース志願の場合は声楽コース B 自由曲、ヴィルトゥオーゾコース A 課題曲、 B 課題曲、 C 自由曲の別を中央に書いてください。 伴奏者に特別な指示(プレス等)が必要な場合は、赤で記入してください。指示以外の書き込みは不可とします。
⑦ 作品等	第1年次音楽総合学科作曲コースで専攻課題 A -3、または A -4 を選択した志願者、あるいは第3年次音楽総合学科作曲コースの志願者は、提出してください。 表に氏名を書いてください。

⑧ 卒業(修了)証明書 または 卒業(修了)見込証明書	<p>出身学校が発行した証明書の原本。日本語または英語1通。 日本語または英語以外の証明書を提出する場合は、出身学校、大使館、公証処等の公的機関により翻訳された日本語または英語の翻訳文を原本に添付してください。</p> <p>※卒業証書ではありません。証書のコピーも不可。</p> <p>第1年次入学志願者：高等学校の証明書 第3年次入学志願者：高等学校の証明書および短期大学、大学またはこれに相当する学校の証明書</p> <p>卒業(修了)見込証明書を提出した場合は、合格通知を受けた後に卒業(修了)証明書を入学選抜事務室に提出してください。</p> <p>卒業証明書の原本が提出できない場合は、卒業証明書の Certified True Copy*を提出してください。 出身学校で卒業証明書が発行できない場合は、卒業証書の Certified True Copy*を提出してください。</p>
⑨ 成績証明書	<p>出身学校が発行した証明書の原本。日本語または英語1通。 日本語または英語以外の証明書を提出する場合は、出身学校、大使館、公証処等の公的機関により翻訳された日本語または英語の翻訳文を原本に添付してください。</p> <p>成績証明書の原本が提出できない場合は、成績証明書の Certified True Copy*を提出してください。</p>
⑩ パスポートのコピー	<p>氏名・生年月日・国籍・パスポート番号・顔写真・有効期限のページのコピー(A4サイズ)。 在留カードがない場合は、日本の出入国歴が記載されたページのコピー(A4サイズ)。</p>
⑪ 在留カードのコピー または住民票 (日本国内在住の場合)	<p>在留カードの場合は、表・裏の両面のコピー(A4サイズ)を提出してください。 住民票の場合は、国籍・地域・在留資格・在留期間・在留期間満了日が記載された「住民票の写し」の原本(出願3ヶ月以内に発行されたもの)1通。</p>

* Certified True Copy：原本から正しく複製されたものであることを、出身学校、大使館、領事館、または公証処等の公的機関(日本語学校、翻訳会社を除く)が証明したものである。いずれも発行機関の公印が押されたもの以外は、認めません。

[出願についての注意事項]

- (1) 出願書類等を一括して、出願期間内に郵送してください。なお、一旦提出された書類は返還しません。
- (2) 提出する書類に記入漏れや不備がないよう出願前に必ず確認してください。
- (3) 各証明書の発行および公的機関での証明(Certified True Copyの作成)には時間がかかる場合がありますので、出願期間に間に合うように早めに書類の準備をしてください。
- (4) 中国の教育機関を卒業(修了)した方で、出身学校が発行した証明書の代わりに、CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する英文の「学歴認証報告書」および「成績認証報告書」を提出する場合は、出願期間内にCHSIから直接、本学入学選抜事務室(nyushi@musashino-music.ac.jp)にメールで送信されるように申請をしてください。英文以外の認証報告書や志願者等が受領し本学へ転送した認証報告書は受理できませんので、ご注意ください。詳細は、CHSIのWebサイトを確認してください。認証報告書の発行には時間がかかる場合がありますので、出願期間に間に合うように早めに準備をしてください。
- (5) いかなる理由があっても出願期間内に全ての書類が提出されない場合は受け付けませんので、ご注意ください。

9. 合格発表

合 否 発 表 日	A日程	2026年11月2日(月) (掲載期間：11月2日(月)16:00～11月4日(水)16:00)
	B日程	2026年12月17日(木) (掲載期間：12月17日(木)16:00～12月19日(土)16:00)
発 表 方 法	<p>ウェブ出願サイトの「合否照合」で合否結果を確認してください。 発表直後はサイトへのアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合は、しばらくたってからアクセスしてください。</p> <p>また、あわせて受験者本人に、合否通知を郵送します。なお、通知の到着は発送日以降となります。 ※電話等での問い合わせには、応じられません。</p>	

10. 入学前教育について

外国人留学生入学者選抜A日程、B日程の合格者を対象として、合格発表から入学までの期間、学修意欲の維持・向上のために入学前教育を実施します。入学後必要となる基礎的な知識・能力を補強し学修意欲を継続させることで、新入生がスムーズに本学での学修を開始できるようにします。詳細は合格通知に同封する書類でお知らせします。

(1) 専門的知識・能力の強化

2027年3月18日(木)、19日(金)に、合格者を対象とした「入学ガイダンス」、特別授業「ソルフェージュ(視唱・聴音)」、「音楽理論」、「音楽用語」を無料で開講します。

(2) 基礎的知識・技能の習得

本学が指定した英語の課題に取り組み、初回の授業時に解答を提出することとしています。また、副科ピアノの課題を提示し、初回のレッスンまでに自主的に取り組み、暗譜で演奏することを求めています。

(3) 音楽表現能力の向上

本学主催の演奏会を無料で聴くことができ、音や音楽に関する感性や、音楽表現の能力について更に高める機会を提供しています。

(4) 学修意欲の維持

本学の図書館を活用し、学修・研究に関する資料(図書、楽譜、録音、録画・映像資料等)の提供や情報検索のサポートなどのレファレンスサービスを受けることができます。

II 入学手続等

1. 入学手続

選 抜 区 分	学 費 等 納 入 期 間
A 日 程	2026年11月5日(木)～11月12日(木)15時まで
B 日 程	2026年12月21日(月)～12月25日(金)15時まで

- (1) 学費等は合格者に郵送する「2027年度外国人留学生入学手続について」により、上記期間内に納入してください(期間内に納入がない場合は、入学の意思がないものとして入学許可を取り消します)。
- (2) 学費等のうち、授業料および施設費については、前期・後期の2回に分けて納入することができます。
- (3) 一旦納入された学費等は原則として返還しませんが、2027年3月31日(水)[必着]までに、書面(様式は自由)により「入学辞退届」が提出された場合に限り、入学金を除く学費等を返還します。
- (4) 入学の許可を受けた者は、すみやかに留学生としての在留資格「留学」を取得またはこれに変更し、入学までに本学所定の入学手続きを完了してください。本学所定の奨学金を申請するには、「留学」の在留資格が必要です。

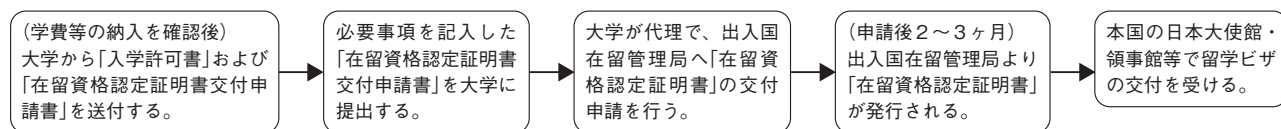
【在留資格「留学」について】

- ・日本の在留資格を有していない場合は、留学ビザの取得が必要となります。本学では、希望により在留資格認定証明書(Certificate of Eligibility)の交付申請を代理で行うことができます。なお、在留資格認定証明書の交付には2～3ヶ月を要する場合があります。在留資格認定証明書が交付されたら、入学許可書等の必要書類をそろえて、本国の日本国大使館・領事館等で留学ビザの交付を受けてください。また、在留資格認定証明書の交付が4月以降になる場合は、短期滞在で入国し、在留資格認定証明書の交付後に本国に帰国して手続きを行っていただくことになります。授業開始に間に合わない場合も、学費の一部返還や、授業欠席の配慮等は行いませんのでご注意ください。
- ・現在の在留資格が「留学」であり、本学への入学に際し在留期間の更新が必要な場合は、在留期間更新許可申請を行ってください。在留期間更新許可の申請は、在留期間が満了する3ヶ月前から申請することができます。また、在留期間が4月以降の場合は、現在所属する学校(日本語学校等)を卒業または退学後14日以内に「活動機関に関する届出(離脱)」を、また本学入学後14日以内に「活動機関に関する届出(移籍)」を出入国在留管理局に提出する必要があります。この届出は各自が行う手続きです。詳細は、出入国在留管理庁 Web サイトで確認してください。なお、在留資格「留学」の活動を行わずに3ヶ月以上日本に滞在する場合は在留資格取消の対象となりますので、ご注意ください。
- ・「留学」以外の資格(短期滞在を除く)で滞在し、在留資格を「留学」に変更を希望する場合は、在留資格変更許可申請を行ってください。在留資格の変更は、申請してから許可がおりるまでに1ヶ月を要する場合があります。

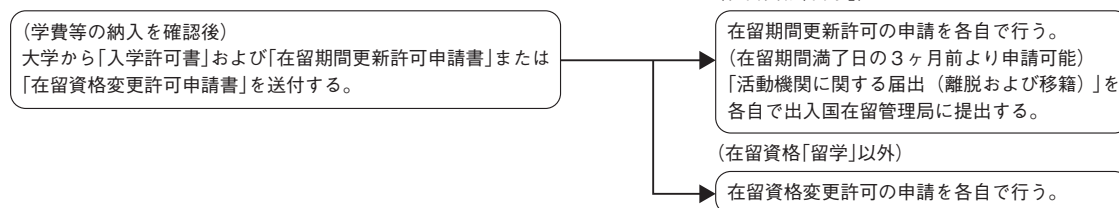
上記の申請手続きに必要な書類は、入学手続き完了後に郵送します。

入学手続き後の在留資格に関する申請の流れ

■在留資格を有していない場合



■在留資格を有している場合



在留申請が許可されなかった場合

在留資格の審査は法務省が行うため、不許可・不交付となった場合は本学での修学は不可となり、入学許可は3月31日付けで取消となります。

審査の期間および結果について、大学では一切責任を負いません。

2. 学費等について

入学年次	学 年	学 科	コ ー ス	学 費			後援会費	納入金合計 (年額)
				入 学 金	授 業 料	施 設 費		
第 1 年次	入学年次	演奏学科	器楽・声楽	150,000 円	1,390,000 円	680,000 円	10,000 円	2,230,000 円
			ヴァルトゥオーゾ	150,000 円	1,490,000 円	680,000 円	10,000 円	2,330,000 円
		音楽総合学科	150,000 円	1,360,000 円	680,000 円	10,000 円	2,200,000 円	
	2～4年次	演奏学科	器楽・声楽	—	1,390,000 円	680,000 円	10,000 円	2,080,000 円
			ヴァルトゥオーゾ	—	1,490,000 円	680,000 円	10,000 円	2,180,000 円
		音楽総合学科	—	1,360,000 円	680,000 円	10,000 円	2,050,000 円	
第 3 年次	入学年次	演奏学科	器楽・声楽	150,000 円	1,390,000 円	670,000 円	10,000 円	2,220,000 円
		音楽総合学科	作曲・音楽学	150,000 円	1,360,000 円	670,000 円	10,000 円	2,190,000 円
	4年次	演奏学科	器楽・声楽	—	1,390,000 円	670,000 円	10,000 円	2,070,000 円
		音楽総合学科	作曲・音楽学	—	1,360,000 円	670,000 円	10,000 円	2,040,000 円

(1) 教育職員免許状の取得を希望する場合は、本表の他に、下記の教員免許課程受講料および所定の介護等体験費・教育実習費、教員免許状大学一括申請手数料が必要となります。

第 1 年次入学の場合：教員免許課程受講料 150,000 円(第 1 年次 50,000 円、第 2 年次 50,000 円、第 3 年次 50,000 円)

第 3 年次編入の場合：教員免許課程受講料 100,000 円(入学年次に納入)

(2) 学芸員の資格取得を希望する場合は、本表の他に、学芸員課程受講料 30,000 円(1 年次に納入。第 3 年次編入の場合は入学年次に納入)および所定の実習費等が必要となります。

(3) 上記の金額は、次年度以降在学中に改定する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. 学生レジデンス Flügel のご案内

プライバシーとセキュリティを重視し、快適な学生生活が送れるよう隅々まで配慮された新しい女子学生寮です。江古田キャンパスから徒歩 2 分以内、江古田・新桜台・小竹向原の 3 駅へのアクセスも抜群です。全室一人部屋で、各居室にはそれぞれ独立したバス・トイレの他、エアコン、冷蔵庫、洗濯機等が標準で設置、さらに、無料で使用できる入居者専用の練習室が併設されています。

入居者募集については、合格者に郵送するご案内をご確認ください。なお、2027 年度の入居者募集は、11 月末までに実施される入学者選抜の合格者が対象となり、外国人留学生入学者選抜については A 日程の合格者のみが対象となります。

4. その他

- (1) 本学での授業は、すべて日本語で行われます。
- (2) 本学には、学業・人物ともに優れ、向学心あふれる学生に給付される「福井直秋記念奨学金」があります(音楽学部 2～4 年次対象)。また、外国人留学生全員を対象とした「外国人留学生学生生活支援金」の制度を設けています。
- (3) 出願書類等の記載事項に虚偽があったときは、入学許可を取り消します。
- (4) 第 1 年次および第 3 年次音楽総合学科音楽学コースのカリキュラムには、副科ピアノがありますので、ソナチネ程度は弾けるようにしておいてください。
- (5) 教育職員免許状および学芸員資格の取得に際しては、日本語能力に関する条件が課せられる場合があります。
- (6) 合格者には、2027 年 2 月に入学手続きに関する書類を郵送します。書類のうち「誓約書」には保証人(父母またはこれに代わる方)の署名・捺印が必要となります。入学手続書類の提出期限に遅れることのないよう早めに準備をしてください。

ウェブ出願ガイド

ウェブ出願サイト 利用前の準備

次の①～⑥を用意してください。

① インターネットに接続されている端末（パソコン・スマートフォン・タブレット）

パソコン	Windows：Google Chrome/Microsoft Edge/Mozilla Firefox（各最新版） Mac：Safari（最新版）
スマートフォン・ タブレット	iPhone・iPad：Safari（最新版） Android：Chrome（アプリ最新版）

② 受信可能なメールアドレス

志願者基本情報登録の際、メールアドレスの入力が必要となります。

フリーメール（GmailやYahoo!メール）または携帯電話等のアドレスを登録してください。

なお、ドメイン「@contact.mescius.com」、「@sbpayment.jp」、「@musashino-music.ac.jp」からのメールを受信できるように設定してください。志願者基本情報の登録完了時、受験料納入完了時に登録したメールアドレスにメールが自動送信されます。

また、登録いただいたメールアドレスに入学者選抜に関する重要なメールを送信しますので、受信したメールは必ず確認してください。

③ PDFファイルを表示するためのアプリケーション

アドビ株式会社の「Adobe Acrobat Reader」を推奨します。

④ A4サイズが出力できるプリンタ

「志願票」「学歴等・受験曲届」「ヴィルトゥオーゾコース受験曲届」「日本語作文（用紙）」「オープンメジャーシステム課題小論文（用紙）」等出願書類を印刷します。

⑤ 顔写真データ

顔写真の画像（デジタルカメラやスマートフォンで撮影した画像も可）を20KB以上3MB以下のjpg、jpegまたはpng形式のデータで準備してください。

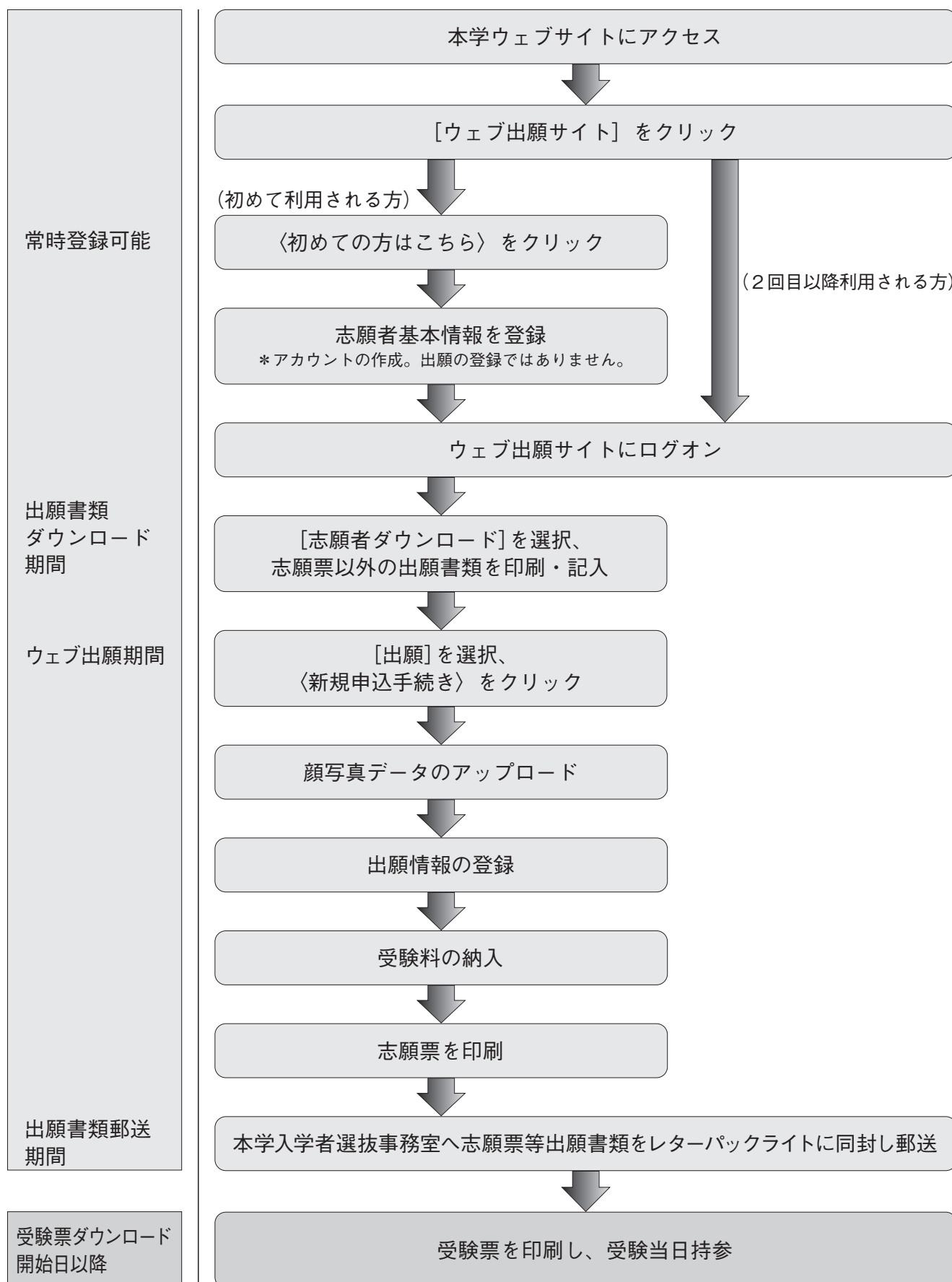
- ・直近3ヶ月以内に撮影したもの
- ・正面、脱帽、無背景（背景白、青または薄い色）
- ・明るく鮮明なもの

⑥ 出願書類郵送用の封筒

日本国内から郵送で出願する場合は、郵便局でレターパックライト（430円）を購入しておいてください。

日本国外から郵送する場合は、EMSで郵送してください。

ウェブ出願から
受験当日までの流れ



I. 志願者の基本情報登録

- ① 本学ウェブサイトへアクセスし、「ウェブ出願サイト」のリンクをクリックすると、専用サイトにアクセスできます。

本学ウェブ出願サイト <https://lsg.mescius.com/musashino-music/app>



←スマートフォン、タブレットをご利用の方は、こちらのQRコードから本学のウェブ出願サイトにアクセスできます。

- ② 〈初めての方はこちら〉ボタンをクリックし、志願者の基本情報（氏名・生年月日・メールアドレス・パスワード等）を登録します。

※メールアドレス・パスワードはログオン時に必要となりますので、忘れないようお手元に記録してください。

※パスワードは8文字以上で英数字を含めたものを設定してください。

「姓」「名」には、保護者情報を入力しないでください

必須 氏名
姓 武蔵野 名 音美
※簡易字体でご入力ください

必須 生年月日
XXXX /XX /XX

必須 メールアドレス
xxxx.xxx@xxx.com

必須 パスワード
※半角英数字を含む8文字以上20文字以下

必須 パスワード（再確認）

来年度もこのメールアドレスを利用する
※ご登録のメールアドレスは本年度にのみ有効です。来年度もこちらのメールアドレスを利用したい場合、チェックボックスにチェックしてください。

戻る 送信

- ③ 登録したメールアドレスに、「仮登録完了および本登録のお知らせ（本登録用の専用URL貼付）」のメールが送信されますので、URLをクリックし本登録を行ってください。

本登録完了後、登録したメールアドレスとパスワードを入力し、ウェブ出願サイトにログオンします。

出願期間前に写真をアップロードする場合は、マイページの「写真管理」からアップロードすることができます（18ページ「II. 顔写真データのアップロード」参照）。

Ⅱ. 顔写真データのアップロード

- ① 「写真管理」画面にて、〈アップロード〉ボタンをクリックし、「◆写真アップロードの流れ」の手順に従い、顔写真データをアップロードしてください。サイズは画面上で調整できます。画面右のプレビューで写真データを確認し、必ず規定のサイズでアップロードしてください。
写真のアップロードが完了したら、〈保存〉ボタンをクリックし、〈次へ〉ボタンをクリックしてください。
- ② 顔写真データについて
 - ・直近3ヶ月以内に撮影したもの
 - ・正面、脱帽、無背景（背景白、青または薄い色）
 - ・明るく鮮明なもの
 - ・20KB以上3MB以下のjpg、jpegまたはpng形式のデータ



Ⅲ. 出願情報の登録（ウェブ出願期間内）

- ① ウェブ出願サイトにログオンし、[出願] アイコンを選択、〈新規申込手続き〉をクリックすると「試験一覧」画面へ進みますので、出願する選抜区分を確認し、〈申込〉ボタンをクリックします。
- ② 「写真管理」画面にて、上記「Ⅱ. 顔写真データのアップロード」の要領に従い写真をアップロードし、〈次へ〉ボタンをクリックします。
(出願期間前に写真のアップロードが完了している場合は、アップロードした写真が表示されます。)
- ③ 画面に従い、出願情報を入力し、〈次へ〉ボタンをクリックしてください。
- ④ 入力内容に間違いがないことを確認し、〈上記内容で申込〉ボタンをクリックします。
(〈一時保存〉ボタンで入力中の内容を保存することができます。)
- ⑤ 「申込結果」画面が表示されるので、内容を確認してください。
また、〈各種印刷〉ボタンをクリックし、〈申込内容確認書〉を選択すると、出願申込内容確認書が印刷できます。

Ⅳ. 受験料の納入

- ① 受験料は、9ページで確認してください。
- ② 申込内容を確認のうえ、〈お支払い〉ボタンをクリックして受験料を決済します。
次ページのいずれかの決済方法を選択し、画面の指示に従ってください。
 - ・受験料の納入期限は、ウェブ出願期間最終日の23:59です。
 - ・受験料の他に事務手数料（決済方法により金額は異なります）が必要となります。事務手数料はご本人負担となります。
 - ・日本国外から出願する場合は、クレジットカードでの決済のみとなります。
 - ・ウェブ出願期間内に受験料の納入が確認できなかった場合、出願情報は無効になります。
 - ・受験料納入後は、登録内容の変更ができませんので、受験料納入前に登録内容に間違いがないか、必ず確認をしてください。納入後に登録内容（志願する学科・コース・楽器等以外）を変更する場合は、入学者選抜事務室（電話 03-3992-1119）まで連絡してください。

[クレジットカード] ※日本国外から出願する場合はクレジットカード決済のみです。

[ペイジー]



*クレジットカード登録と同時に決済となり、その後の変更はできませんのでご注意ください。
*クレジットカードの名義人は志願者本人でなくても構いません。



*金融機関ATMまたはネットバンキング

[コンビニエンスストア]



*コンビニ決済を選択後、払込票を印刷するか払込伝票番号等を控え、選択したコンビニエンスストアで支払いを行ってください。

- ③ お支払いが完了すると決済完了メールが送信されます。

出願書類郵送

I. 出願書類の印刷・記入

- ① 受験料の決済が完了すると、「志願票」（1ページ目）、「宛名シート」（2ページ目）がダウンロード可能となります。ウェブ出願サイトにログインし、[出願] アイコンを選択します。出願申込履歴にある〈各種印刷〉ボタンから「志願票」を選択し、志願票（PDF）をA4サイズ、カラーで印刷してください。なお、パソコンとスマートフォンでは表示が異なる場合があります。また、コンビニエンスストアで印刷する場合は、各コンビニエンスストアのネットプリントアプリをインストールする必要があります。
- ② 提出する書類については、10～11ページの出願書類を確認してください。
出願書類ダウンロード期間内にウェブ出願サイトにログインし、[志願者ダウンロード] アイコンより外国人留学生入学者選抜大学音楽学部の出願書類（PDF）をダウンロードし、各用紙をA4サイズで片面印刷してください。

II. 出願書類の郵送

〈日本国内から郵送の場合〉

レターパックライトの表面に「宛名シート」を貼付し、提出する書類に記入漏れや不備がないか、再度確認した後封入し、最寄りのポストに投函してください。

レターパックライトは郵便局にて購入可能（430円）です。レターパックライトの表面「はがして差出し」部分のシールを剥がし保管してください。記載されている番号にて郵便の追跡調査ができます。

〈日本国外から郵送の場合〉

提出する書類に記入漏れや不備がないか、再度確認した後封入し、EMSで郵送してください。

受験当日まで

受験票の印刷

出願書類郵送期間が終了し受付処理を行った後、受験番号を付番します。

受験票のダウンロード開始日は次のとおりです。ウェブ出願サイトにログオンし、[出願] アイコンを選択します。出願申込履歴にある「受験票」欄の〈印刷〉ボタンをクリック（スマートフォンの場合は、〈各種印刷〉ボタンから「受験票」を選択）して受験票（写真付）（PDF）をA4サイズ、カラーで印刷し、点線で切り取り、試験当日持参してください。

受験票ダウンロード開始日	<u>A日程 2026年10月19日(月)</u>
	<u>B日程 2026年12月4日(金)</u>

合否照会

合否については、次の手順で確認できます。

- ①ウェブ出願サイトにログオンし、「合否照会」を選択します。
- ②「合否」欄の〈結果を確認〉ボタンをクリックすると、合否結果が表示されます。
学科・コースを併願して受験した場合は、合格した学科・コースが表示されます。

〈出願に関する問い合わせ先〉

武蔵野音楽大学 入学者選抜事務室 電話 03-3992-1119（直通） E-mail nyushi@musashino-music.ac.jp
問い合わせ対応時間 8：20～16：50（土日・祝日および大学休業日を除く）

〈システムに関する操作等の問い合わせ先〉

ログオン画面の[お問合せ]をクリックし、[システム・操作について]タブの[操作お問合せ]をクリックします。チャットサポート画面下部の[メールお問合せ]よりお問い合わせください。

メシウス株式会社

問い合わせ対応時間 9：00～12：00 / 14：00～17：00（土日・祝日および弊社休業日を除く）

Ⅲ 学科(専攻)別課題

- ◇外国人留学生入学者選抜で、第1年次および第3年次の両方を志願する場合には、第3年次入学者選抜課題で受験してください。その際、第1年次入学者選抜課題を受験する必要はありません。
- ◇以下に掲げる課題は、ヴィルトゥオーゾコースを志願する場合の課題ではありません。ヴィルトゥオーゾコースの課題は45～62ページを確認してください。

第1年次入学者選抜課題

【演奏学科】

器楽コース

【有鍵楽器(ピアノ)】

専攻実技 次の1.および2.(暗譜、繰り返しなし)

1.と2.の両方を続けて演奏する(演奏順は自由)。

1. Chopin エチュード集 Op.10 または Op.25 から任意の1曲(ただし、Op.10-6 および Op.25-7 を除く)
2. 任意の独奏曲(5分～10分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、Chopin エチュードを除く)

【有鍵楽器(オルガン)】

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 専攻実技 次の(1)および(2)(暗譜の必要なし、繰り返しなし)

- (1) J. S. Bach Orgelbüchlein (オルガン小曲集) BWV599 から BWV644 までの任意の1曲
- (2) 自由曲(5分～10分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、8分程度でカットすることがある)

※アシスタントが必要な場合は本学で用意する。試験当日にレジスタータイムを与える。

使用するオルガンの仕様 (事前に練習ができます)

Pedal		I. Hauptwerk		II. Schwellwerk		III. Solowerk	
1. Choralbass	4'	4. Mixtur	3f	9. Terz	1 3/5'	15. Klarinette	8'
2. Violon	8'	5. Larigot	1 1/3'	10. Octave	2'	16. Dolkan	8'
3. Subbass	16'	6. Blockflöte	2'	11. Quinte	1 2/3'		
		7. Principal	4'	12. Offenflöte	4'		
		8. Gedackt	8'	13. Rohrflöte	8'		
				14. Tremulant			

Ⅲ/Ⅱ Ⅲ/Ⅰ Ⅱ/Ⅰ Ⅲ/P Ⅱ/P Ⅰ/P

2. 副科ピアノ

Czerny Op.740(ツェルニー50番)より任意の1曲(暗譜の必要なし、繰り返しなし。4分半程度でカットすることがある)

【管楽器】

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

すべての楽器とも伴奏なし、音階は暗譜で演奏。課題曲は暗譜の必要なし。特記された曲以外の版は自由。

■フルート

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
譜例のように2オクターブを長調はレガートで、短調はタンギングで演奏する（暗譜）。



[B] 課題曲 次の7曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

C. J. Andersen 24 Studies Op.21 第2番、第4番、第10番、第24番（Schirmer版）
E. Köhler 12 medium difficult exercises Op.33の2 第5番、第8番、第10番

2. 副科ピアノ 33ページを確認のこと。

■オーボエ

1. 専攻実技 次の[A][B][C]を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各8つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
B dur, H dur, C dur, Des dur, D dur, Es dur, E dur, F dur, b moll, h moll, c moll, cis moll, d moll,
es moll, e moll, f moll（mollはすべて和声短音階で演奏する）
譜例のように2オクターブをタンギングで演奏する（暗譜）。



[B] 課題曲 次のの中から任意の1曲を選び演奏する。

Salviani Studi per Oboe Vol.2 C dur
第2番、第3番、第4番、第5番、第6番、第7番、第8番

[C] 課題曲 次のの中から任意の1曲を選び演奏する。

W. Ferling 48 Etüden 第17番、第25番、第33番
L. Wiedemann 45 Etüden für Oboe 第9番、第12番、第13番、第29番、第30番

2. 副科ピアノ 33ページを確認のこと。

■クラリネット

- B♭クラリネットが主であるが、Esクラリネット、Altoクラリネット、Bassクラリネットでも受験可能である。ただし、入学後はB♭クラリネットを中心にレッスンを行う。
- 音階は上記の楽器すべてに共通。

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階** 調号が♯・♭それぞれ3個までの長調および短調(和声短音階、旋律短音階のどちらでもよい)の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
譜例のように長調はレガートで、短調はスタッカートで演奏する(暗譜)。



■ファゴット

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
譜例のように2オクターブを演奏する（暗譜）。



- [B] 課題曲 次の4曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された部分を演奏する。

J. Weissenborn Fagottstudien Op.8 第2巻 (Peters 版)
第4番、第8番、第13番、第15番

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■ホルン

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各4つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
As dur, A dur, B dur, C dur, as moll, a moll, b moll, c moll（すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する）
譜例のように演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜）。



- [B] 課題曲 次の3曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

W. A. Mozart Konzert Rondo Es dur K.371
W. A. Mozart Konzert Nr.3 Es dur K.447 第1楽章（カデンツァなし）
Saint-Saëns Morceau de concert Op.94 より第1部（第2変奏まで）

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■トランペット

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階** 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, Ges dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, ges moll, g moll, as moll, a moll, b moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。
 B♭管で演奏すること。



(この譜例は実音 F dur)

- [B] 課題曲** 次の4曲の中から1曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

- A. Corelli Sonata VIII Transcribed by R. Bernard Fitzgerald
 第1楽章および第2楽章
 S. Hering 28 Melodious and Technical Etudes (C. Fischer 版)
 第1番 Allegro Moderato
 第4番 Allegretto
 T. Charlier 36 Études Transcendantes (A. Leduc 版)
 第1番

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■トロンボーン(テナーで受験する者)

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階** 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, Fis dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, fis moll, g moll, as moll, a moll, b moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。



- [B] 課題曲** 次の3曲の中から1曲を選び演奏する。

- C. Kopprasch 60 Studies Book I 第14番 Allegro (C. Fischer, 全音楽譜出版社 版)
 C. Kopprasch 60 Studies Book II 第48番 Adagio (第40小節まで)
 (C. Fischer, 全音楽譜出版社 版)
 A. Guilmant Concert piece (冒頭のAndante sostenutoから第26小節まで、および2回目のAllegro moderatoから最後まで) (Schott & Co. Ltd., International Music Company 版)

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■トロンボーン (バスで受験する者)

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各5つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 D dur, Es dur, E dur, F dur, G dur, d moll, es moll, e moll, f moll, g moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する (特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。

M.M. ♩ = 92

L'istesso tempo

- [B] 課題曲 次の3曲の中から1曲を選び演奏する (演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。
 O. Blume 36 Studies for Trombone with F Attachment 第2番 ヘ長調 (C. Fischer 版)
 C. Kopprasch 60 Selected Studies for BB flat Tuba 第14番 Allegro (C. Fischer, R. King, Hofmeister 版)
 C. Kopprasch 60 Selected Studies for BB flat Tuba 第47番 Andante (第40小節まで) (R. King 版)

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■ユーフォニアム

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, Fis dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, fis moll, g moll, as moll, a moll, b moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する (特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。

M.M. ♩ = 92

L'istesso Tempo

- [B] 課題曲 次の1. 2. の中からそれぞれ1曲ずつ選び、2曲を1. 2. の順で演奏する (演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。
 1. ① J. B. Arban Method for Trombone Characteristic Studies 第1番
 ② C. Kopprasch 60 Studies 第22番
 2. J. Rochut Melodious Etudes for Trombone Book I 第3番、第4番、第5番

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■チューバ

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

[A] 音階

次に指定する長調、短調 各7つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

F dur, G dur, A dur, B dur, C dur, D dur, Es dur, d moll, e moll, fis moll, g moll, a moll, h moll, c moll
(すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)

譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。

♩ = 80



[B] 課題曲

次の1. 2.の中からそれぞれ1曲ずつ選び、2曲を1. 2.の順で演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

1. C. Kopprasch 60 Studies 第7番、第14番、第22番
2. M. Bordogni 43 Bel Canto Studies 第2番、第3番、第10番

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

【打楽器】

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

すべての楽器とも音階は暗譜で演奏、課題曲は暗譜の必要なし。特記された曲以外の版は自由。

■マリンバ

1. 専攻実技 次の[A][B][C]を受験すること。

A 小太鼓 次の中から当日試験場で指定する。響線を入れて演奏する。

小太鼓基本奏法「二つ打ち」

小太鼓基本奏法「五つ打ち」

B 音階 [マリンバ]

すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
譜例のように演奏する（暗譜）。

M.M. ♩ = 100~132

C 課題曲 [マリンバ]

次の8曲の中から2曲を選び、記載順に演奏する。マレットの選択はすべて自由。

J. S. Bach Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV 1001-1006 (Peters 版)

Sonata I より Adagio (第13小節1拍目まで)

Fuga Allegro (第36小節2拍目まで)

Presto (第54小節まで。繰り返しなし)

Partita III より Preludio (第66小節まで)

三善 晃 組曲「会話」より

1. やさしいお話

2. よかったね、あれ……を何回も

3. いつまでも くやしい

5. つじつまのあわない報告

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■打楽器

1. 専攻実技 次の[A][B][C]を受験すること。

[A] 音階 [マリンバ]

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

C dur, G dur, D dur, A dur, F dur, B dur, Es dur

譜例のように演奏する(暗譜)。



[B] 小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。響線を入れて演奏する。

小太鼓基本奏法「二つ打ち」

小太鼓基本奏法「五つ打ち」

[C] 課題曲 [小太鼓]

次の1. 2. 両方を受験すること(1. 2. の順で演奏する)。

1. 次の4曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された2曲を、下記に示したテンポで演奏する(繰り返しなし)。

W. F. Ludwig Collection (of) Drum Solos

Dedekii (D.S. あり) ♩ = 92 ~ 100

Capt. Whiting's ♩ = 112 ~ 120

The Guard of The Standard ♩ = 112 ~ 120

Fancy $\frac{6}{8}$ ♩ = 88 ~ 96

2. 次の4曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された1曲を演奏する。

A. J. Cirone Portraits in rhythm (Belwin Mills 版)

第3番、第6番、第13番、第50番

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■ティンパニ

1. 専攻実技 次の[A][B][C][D]を受験すること。

[A] 音階 [マリンバ]

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

C dur, G dur, D dur, A dur, F dur, B dur, Es dur

譜例のように演奏する（暗譜）。



[B] 小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。響線を入れて演奏する。

小太鼓基本奏法「二つ打ち」

小太鼓基本奏法「五つ打ち」

[C] ティンパニ ティンパニのチューニング（当日ピアノで与えた音程を作ること）

ティンパニの基本奏法 ロール *pp* \leftarrow *ff* \rightarrow *pp*（約30秒）

[D] 課題曲 [ティンパニ]

次の7曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された2曲を演奏する（音程はピアノで与える）。

R. Hochrainer Etudes for Timpani Vol. 1（Doblinger 版）

第13番、第32番、第34番、第36番、第40番、第42番、第45番

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

【弦楽器】

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

■ヴァイオリン

1. 専攻実技 次の次を受験すること。

任意の協奏曲より第1楽章または終楽章を演奏する。演奏時間は7分程度とする(暗譜、伴奏なし、繰り返しなし、時間を超えた場合はカットする)。

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■ヴィオラ

1. 専攻実技 次の次を受験すること。

任意の協奏曲より1つの楽章(緩徐楽章は不可)、またはそれと同程度の自由曲を演奏する。演奏時間は7分程度とする(暗譜、伴奏なし、繰り返しなし、時間を超えた場合はカットする)。

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■チェロ

1. 専攻実技 次の次を受験すること。

任意の協奏曲、ソナタまたは独奏曲(必ず速い楽章を含むこと。同一楽曲からの複数の楽章も可)を演奏する。演奏時間は5分～7分程度とする(暗譜、伴奏なし、繰り返しなし、時間を超えた場合はカットする)。

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■コントラバス

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

[A][B]の順で演奏する(暗譜の必要なし)。

- [A]音階 任意の調を選び2オクターブの音階を演奏する。
速度、運指は自由とし、譜例のようにスラーをつけて演奏する。

例



- [B] (1)(2)のうちどちらかを選択し、演奏する(伴奏なし)。

- (1) 任意の協奏曲の中から第1楽章、または第3楽章
(2) 任意のソナタの中から第1楽章および第2楽章

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

■ハープ

1. 専攻実技 次の2曲を任意に選び演奏する(暗譜、繰り返しなし)。

練習曲 1曲(演奏時間は3分程度。この時間を超えた場合はカットする。)

独奏曲 1曲(演奏時間は7分程度。この時間を超えた場合はカットする。)

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

声乐コース

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 専攻実技 課題曲1曲、自由曲1曲（暗譜）

ただし、自由曲については課題曲(1)(2)に記載の曲を除く。

課題曲、自由曲の順に続けて演奏する。

本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

課題曲 次の(1)および(2)の中から1曲選ぶこと。調性は指定の中から選ぶこと。

(1)	・ Beethoven	Ich liebe dich	ホ長調	へ長調	ト長調	
	・ Schubert	An die Musik	ハ長調	ニ長調		
	・ Schubert	Frühlingsglaube	変ト長調	変イ長調		
	・ Schumann	Die Lotosblume	変ホ長調	へ長調		
	・ Rosa (Mancia)	Star vicino	ホ長調	ト長調	イ長調	変ロ長調
	・ Rosa	Vado ben spesso cangiando loco	変イ長調	イ長調	変ロ長調	ハ長調
	・ Caccini	Amor ch'attendi	ホ長調	ト長調	イ長調	
	・ A. Scarlatti	Se tu della mia morte	ホ短調	へ短調	ト短調	
	・ A. Scarlatti	Sento nel core	ニ短調	ホ短調	へ短調	ト短調
	・ A. Scarlatti	Già il sole dal Gange	へ長調	ト長調	変イ長調	変ロ長調
	・ A. Scarlatti	Le violette	へ長調	変イ長調	変ロ長調	ロ長調
	・ Gasparini	Lasciar d'amarti	ニ短調	へ短調	ト短調	
	・ Gasparini	Caro laccio	変ニ長調	変ホ長調	へ長調	
	・ Caldara	Sebben, crudele	ハ短調	ニ短調	ホ短調	
	・ Durante	Vergin, tutto amor	ロ短調	ハ短調	ニ短調	
	・ Paisiello	Nel cor più non mi sento	変ホ長調	ホ長調	へ長調	ト長調
	・ Giordani	Caro mio ben	ニ長調	変ホ長調	へ長調	
	・ Bellini	Ma rendi pur contento	変ト長調	変イ長調		
	・ Bellini	Vaga luna, che inargenti	変イ長調	ハ長調		
	・ Tosti	Sogno	変イ長調	変ロ長調		
(2)	・ 瀧 廉太郎	荒城の月(1番、2番のみ)	変ロ短調	ハ短調	ニ短調	
	・ 山田 耕筈	赤とんぼ(1番、2番のみ)	変ホ長調	へ長調		
	・ 山田 耕筈	この道(1番、2番のみ)	ニ長調	ホ長調	へ長調	
	・ 信時 潔	北秋の	変ロ長調	ハ長調	ニ長調	
	・ 信時 潔	行々子	ニ長調	ホ長調	嬰へ長調	
	・ 成田 為三	浜辺の歌(1番、2番のみ)	へ長調	変イ長調	イ長調	
	・ 小松 耕輔	母	へ長調	変イ長調	イ長調	
	・ 平井康三郎	平城山	ト短調	イ短調		
	・ 平井康三郎	びいでびいで(繰り返しなし)	ト長調	イ長調		
	・ 平井康三郎	ゆりかご	ニ長調	ホ長調		
	・ 中田 喜直	むこうむこう	変ホ長調	へ長調		
	・ 中田 喜直	風の子供	変ニ長調	ニ長調		

2. 副科ピアノ 33 ページを確認のこと。

2. 副科ピアノ

【器楽コース(管楽器・打楽器・弦楽器)・声楽コース】

次の曲の中から1曲を選び演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし。3分半程度でカットすることがある)。

1. J. S. Bach インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
2. Kuhlau ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
3. Clementi ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
4. Dussek ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章
5. Haydn ソナタ 第1楽章または終楽章
6. W. A. Mozart ソナタ 第1楽章または終楽章
7. Beethoven ソナタ Op.2-1 から Op.79 までの第1楽章または終楽章

【音楽総合学科】

オープンメジャーシステム

次の1. 2. 3.を受験すること。

1. 課題小論文(50分) 芸術文化全般に関する小論文を課す。
第2志望をオープンメジャーシステムとする場合は、「オープンメジャーシステムで入学した際に、1年次に自らどのような学修を進めていきたいと考えているのか」と題した小論文を出願書類とともに提出すること(本学指定のA4サイズの用紙に横書きで800字程度。日本語による自筆のもの)。
※ AIで作成しないこと。AIで作成したことが確認された場合、失格となることがある。
2. 口頭試問 上記「1. 課題小論文」および芸術文化全般に関する基本的な事柄について試問する。
3. 実技(器楽・声楽) 器楽または声楽のいずれかを演奏する。
なお、器楽については、ピアノ、オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器の中から1つの楽器を選び、演奏する。
器楽、声楽、いずれの場合も暗譜の必要なし。

【器楽】

〈ピアノ〉

次の曲の中から1曲を選び演奏する(繰り返しなし。3分半程度でカットすることがある)。

1. J. S. Bach インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
2. Kuhlau ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
3. Clementi ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
4. Dussek ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章
5. Haydn ソナタ 第1楽章または終楽章
6. W. A. Mozart ソナタ 第1楽章または終楽章
7. Beethoven ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章

〈オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器〉

3分程度の任意の曲を演奏する(複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、マリimba、打楽器、ティンパニ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

【声楽】

演奏学科声楽コースの課題曲(32ページ(1)(2))の中から1曲を演奏する(調性は指定された中から選ぶこと)。

本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

フィックスメジャーシステム

作曲コース

A 専攻課題、B 口頭試問、C 実技(ピアノ)を受験すること。

A 専攻課題

次の1. 2. 3. 4. より一つを選択する。

1. 和声 ソプラノ課題またはバス課題(2時間)。

和声課題 解答例

Moderato assai

2. 作曲 与えられた動機による任意の形式のピアノ曲を作る(3時間)。

出題動機例

解答楽曲例

3. 作品提出 出願時に、自作品の楽譜とその解説(200字程度)を提出する。
作品の形態(器楽曲、声楽曲)は自由。
4. 音源提出 出願時に、自作品の録音(オーディオCD)とその解説(200字程度)を提出する。
作品の形態(器楽曲、声楽曲)は自由。

- B 口頭試問** **A**に関する質問が中心となる。
なお、口頭試問の時間は、
A - 1. 2. を選択した者は15分
A - 3. 4. を選択した者は20分とする。

C 実技(ピアノ)

次の曲の中から1曲を選び演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし。4分程度でカットすることがある)。

1. J. S. Bach 平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻(フーガのみ)
2. Haydn ソナタ 第1楽章または終楽章
3. W. A. Mozart ソナタ 第1楽章または終楽章
4. Beethoven ソナタ Op.2-1 から Op.79 までの第1楽章または終楽章。
ただし、Op.27-2の第1楽章は除く。

音楽学コース

次の1. 2. 3. 4. を受験すること。

1. 課題小論文(90分) 音楽を主題とする日本語の小論文を課し、文章表現力・論理的思考力を判定する。
2. 口頭試問 上記「1. 課題小論文」および音楽全般に関する基本的な事柄について試問する(日本語)。
3. 英文和訳(90分) 英語の文章を日本語に翻訳する。
※語学辞書の使用可。ただし、電子辞書の使用は認めない。
4. 実技(器楽・声楽) 器楽または声楽のいずれかを演奏する。
なお、器楽については、ピアノ、オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器の中から1つの楽器を選び、演奏する。
器楽、声楽、いずれの場合も暗譜の必要なし。

【器楽】

〈ピアノ〉

次の曲の中から1曲を選び演奏する(繰り返しなし。3分半程度でカットすることがある)。

1. J. S. Bach インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
2. Kuhlau ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
3. Clementi ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
4. Dussek ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章
5. Haydn ソナタ 第1楽章または終楽章
6. W. A. Mozart ソナタ 第1楽章または終楽章
7. Beethoven ソナタ Op.2-1 から Op.79 までの第1楽章または終楽章

〈オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器〉

3分程度の任意の曲を演奏する(複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、
トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、テューバ、マリimba、打楽器、ティンパニ、
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

【声楽】

演奏学科声楽コースの課題曲(32ページ(1)(2))の中から1曲を演奏する(調性は指定された中から選ぶこと)。

本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

音楽教育コース

次の1. 2. 3.を受験すること。

1. 課題小論文(50分) 教育または音楽教育に関する小論文を課し、主に内容の的確さと構成力、並びに文章表現力を判定する。
2. 口頭試問 上記「1. 課題小論文」および音楽教育の基本的な事柄について試問する。
3. 実技(器楽・声楽) 器楽または声楽のいずれかを演奏する。
なお、器楽については、ピアノ、オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器の中から1つの楽器を選び、演奏する。
器楽、声楽、いずれの場合も暗譜の必要なし。

【器楽】

〈ピアノ〉

次の曲の中から1曲を選び演奏する(繰り返しなし。3分半程度でカットすることがある)。

1. J. S. Bach インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
2. Kuhlau ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
3. Clementi ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
4. Dussek ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章
5. Haydn ソナタ 第1楽章または終楽章
6. W. A. Mozart ソナタ 第1楽章または終楽章
7. Beethoven ソナタ Op.2-1 から Op.79 までの第1楽章または終楽章

〈オルガン〉

3分程度の任意の曲を演奏する(複数曲も可)。

〈管楽器〉

すべての楽器とも伴奏なし、音階は暗譜で演奏。課題曲は暗譜の必要なし。特記された曲以外の版は自由。

■フルート

次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
譜例のように2オクターブを長調はレガートで、短調はタンギングで演奏する（暗譜）。



- [B] 課題曲 次の7曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

C. J. Andersen 24 Studies Op.21 第2番、第4番、第10番、第24番（Schirmer版）

E. Köhler 12 medium difficult exercises Op.33の2 第5番、第8番、第10番

■オーボエ

次の[A][B][C]を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各8つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
B dur, H dur, C dur, Des dur, D dur, Es dur, E dur, F dur, b moll, h moll, c moll, cis moll, d moll,
es moll, e moll, f moll（mollはすべて和声短音階で演奏する）
譜例のように2オクターブをタンギングで演奏する（暗譜）。



- [B] 課題曲 次の中から任意の1曲を選び演奏する。

Salviani Studi per Oboe Vol.2 C dur

第2番、第3番、第4番、第5番、第6番、第7番、第8番

- [C] 課題曲 次の中から任意の1曲を選び演奏する。

W. Ferling 48 Etüden 第17番、第25番、第33番

L. Wiedemann 45 Etüden für Oboe 第9番、第12番、第13番、第29番、第30番

■クラリネット

- B♭クラリネットが主であるが、Esクラリネット、Altoクラリネット、Bassクラリネットでも受験可能である。ただし、入学後はB♭クラリネットを中心にレッスンを行う。
- 音階と課題曲は上記の楽器すべてに共通。

次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 調号が♯・♭それぞれ3個までの長調および短調（和声短音階、旋律短音階のどちらでもよい）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
譜例のように長調はレガートで、短調はスタッカートで演奏する（暗譜）。



- [B] 課題曲 次のエチュードの中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示で指定する場がある）。

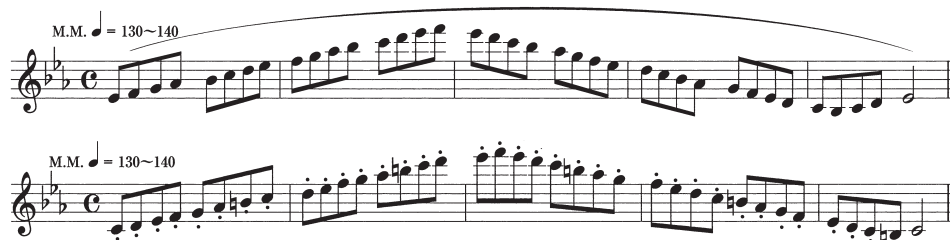
C. Rose 32 Etudes

■サクソフォーン

- アルト・サクソフォーンが基本であるが、ソプラノ・サクソフォーン、テナー・サクソフォーン、バリトン・サクソフォーンのいずれの楽器でも受験可能である。ただし、入学後はアルト・サクソフォーンを中心にレッスンをを行う。
- 音階と課題曲は上記の楽器すべてに共通。

次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階** すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように長調はレガートで、短調はスタッカートで演奏する（暗譜）。



- [B] 課題曲** 次のの中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

F. W. Ferling *Enseignement du Saxophone 48 Etudes* (A. Leduc 版)
第5番、第6番、第11番、第12番、第17番、第18番

■ファゴット

次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階** すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを演奏する（暗譜）。



- [B] 課題曲** 次の4曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

J. Weissenborn *Fagottstudien Op. 8* 第2巻 (Peters 版)
第4番、第8番、第13番、第15番

■ホルン

次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階** 次に指定する長調、短調 各4つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
As dur, A dur, B dur, C dur, as moll, a moll, b moll, c moll（すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する）
譜例のように演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜）。



- [B] 課題曲** 次の2曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

E. Bozza *En Irlande*
W. A. Mozart *Konzert Nr. 3 Es dur K.447* 第1楽章（カデンツァなし）

■トランペット

次の **A** **B** 両方を受験すること。

- A** 音階 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, Ges dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, ges moll, g moll, as moll, a moll, b moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。
 B \flat 管で演奏すること。

M.M. $\text{♩} = 72$ (Trumpet in B \flat)

L'istesso Tempo

(この譜例は実音 F dur)

- B** 課題曲 次の曲を演奏する。
 G. F. Handel Aria con Variazioni Transcribed by R. Bernard Fitzgerald
 Theme および Var. I

■トロンボーン (テナーで受験する者)

次の **A** **B** 両方を受験すること。

- A** 音階 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, Fis dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, fis moll, g moll, as moll, a moll, b moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。

M.M. $\text{♩} = 92$

L'istesso tempo

- B** 課題曲 次の2曲の中から1曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。
 C. Kopprasch 60 Selected Studies for Trombone (C. Fischer 版)
 第7番、第11番

■トロンボーン (バスで受験する者)

次の[A][B]両方を受験すること。

- A 音階** 次に指定する長調、短調 各5つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 D dur, Es dur, E dur, F dur, G dur, d moll, es moll, e moll, f moll, g moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。

M.M. ♩ = 92

L'istesso tempo

- B 課題曲** 次の2曲の中から1曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。
 C. Kopprasch 60 Selected Studies for BB flat Tuba (R. King 版)
 第7番、第11番

■ユーフォニアム

次の[A][B]両方を受験すること。

- A 音階** 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, Fis dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, fis moll, g moll, as moll, a moll, b moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。

M.M. ♩ = 92

L'istesso Tempo

- B 課題曲** 次の3曲の中から1曲を選び演奏する。
 J. Rochut Melodious Etudes for Trombone Book I
 第3番、第4番、第5番

■チューバ

次の[A][B]両方を受験すること。

- A 音階** 次に指定する長調、短調 各7つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, G dur, A dur, B dur, C dur, D dur, Es dur, d moll, e moll, fis moll, g moll, a moll, h moll, c moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。

♩ = 80

- B 課題曲** 次の2曲の中から1曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。
 M. Bordogni 43 Bel Canto Studies
 第2番、第3番

〈打楽器〉

すべての楽器とも音階は暗譜で演奏、課題曲は暗譜の必要なし。特記された曲以外の版は自由。

■マリンバ

次の[A][B][C]を受験すること。

A 小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。響線を入れて演奏する。

小太鼓基本奏法「二つ打ち」

小太鼓基本奏法「五つ打ち」

B 音階〔マリンバ〕

すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
譜例のように演奏する（暗譜）。

M.M. ♩ = 100~132

C 課題曲〔マリンバ〕

次の8曲の中から1曲を選び演奏する。マレットの選択はすべて自由。

J. S. Bach Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV 1001-1006 (Peters 版)

Sonata I より Adagio (第13小節1拍目まで)
Fuga Allegro (第36小節2拍目まで)
Presto (第54小節まで。繰り返しなし)

Partita III より Preludio (第66小節まで)

三善 晃 組曲「会話」より

1. やさしいお話
2. よかったね、あれ……を何回も
3. いつまでも くやしい
5. つじつまのあわない報告

■打楽器

次の[A][B][C]を受験すること。

[A] 音階 [マリンバ]

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

C dur, G dur, D dur, A dur, F dur, B dur, Es dur

譜例のように演奏する(暗譜)。



[B] 小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。響線を入れて演奏する。

小太鼓基本奏法「二つ打ち」

小太鼓基本奏法「五つ打ち」

[C] 課題曲 [小太鼓]

次の1. 2. 両方を受験すること(1. 2. の順で演奏する。演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

1. 次の4曲の中から1曲を選び演奏する(テンポの指定なし、繰り返しなし)。

W. F. Ludwig Collection (of) Drum Solos

Dedekii (D.S. あり)

Capt. Whiting's

The Guard of The Standard

Fancy $\frac{6}{8}$

2. 次の4曲の中から1曲を選び演奏する。

A. J. Cirone Portraits in rhythm (Belwin Mills 版)

第3番、第6番、第13番、第50番

■ティンパニ

次の[A][B][C][D]を受験すること。

[A] 音階 [マリンバ]

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

C dur, G dur, D dur, F dur, B dur

譜例のように演奏する(暗譜)。



[B] 小太鼓 次のの中から当日試験場で指定する。響線を入れて演奏する。

小太鼓基本奏法「二つ打ち」

小太鼓基本奏法「五つ打ち」

[C] ティンパニ ティンパニのチューニング(当日ピアノで与えた音程を作ること)

ティンパニの基本奏法 ロール *pp* < *ff* > *pp* (約30秒)

[D] 課題曲 [ティンパニ]

次の7曲の中から2曲を選び記載順に演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする。また、音程はピアノで与える)。

R. Hochrainer Etudes for Timpani Vol. 1 (Doblinger 版)

第13番、第32番、第34番、第36番、第40番、第42番、第45番

〈弦楽器〉

3分程度の任意の曲を演奏する(複数曲も可、伴奏なし)。

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

【声乐】

演奏学科声乐コースの課題曲(32ページ(1)(2))の中から1曲を演奏する(調性は指定された中から選ぶこと)。

本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

アートマネジメントコース

次の1. 2. を受験すること。

1. 課題小論文(50分) 芸術文化全般に関する小論文を課す。
2. 口頭試問 上記「1. 課題小論文」および芸術文化全般に関する基本的な事柄について試問する。

【演奏学科】

ヴィルトゥオーゾコース

【有鍵盤器(ピアノ)】

*ヴィルトゥオーゾコースを志願する場合は、次の器楽コースの課題とヴィルトゥオーゾコースの課題の両方を受験すること。

【器楽コース】

専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること(暗譜、繰り返しなし)。
受験に際しては、[A][B]の順に続けて演奏する。

- [A] 次の1.と2.の両方を演奏する(演奏順は自由)。
1. Chopin エチュード集Op.10またはOp.25の中から1曲(Op.10-6、Op.25-7を除く)。
 2. J. S. Bach 平均律クラヴィーア曲集 第1巻、第2巻の中から1曲(プレリュードとフーガ)、あるいはHaydn、W. A. Mozart、Beethovenのソナタの第1楽章または終楽章。
- [B] 次のグループより1人の作曲家を選び、任意の作品を演奏する([A]で選択したものは除く)。
- J. S. Bach (第3者による編曲作品は不可)、Haydn、W. A. Mozart、Beethoven、Weber、Schubert、Mendelssohn、Chopin (エチュードを除く)、Schumann、Liszt、Brahms、Saint-Saëns、Tchaikovsky、Grieg、Fauré、Debussy、Scriabin、Rachmaninoff、Ravel、Bartók、Prokofieff
(5分～10分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、8分程度でカットすることがある。)

【ヴィルトゥオーゾコース】

次の1. 2. 3. より2つのグループを選び、各々1人ずつ作曲家を選択し、合わせて15分以上のプログラムを組み演奏する(2. 3. 内の同一作曲家による複数曲は可)。ただし、器楽コース有鍵盤器ピアノ専攻実技の試験で演奏する作品と重複しないこと(暗譜、繰り返しなし、演奏順は自由)。

1. Haydn、W. A. Mozart、Beethovenのソナタの第1楽章または終楽章
2. Weber、Schubert、Mendelssohn、Chopin(エチュードを除く)、Schumann、Liszt、Brahms、Tchaikovsky、Grieg
3. Saint-Saëns、Fauré、Debussy、Scriabin、Rachmaninoff、Ravel、Bartók、Stravinsky、Prokofieff

【有鍵盤器(オルガン)】

*ヴィルトゥオーゾコースを志願する場合は、次の器楽コースの課題とヴィルトゥオーゾコースの課題の両方を受験すること。

【器楽コース】

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること(暗譜の必要なし)。

- [A] 課題曲 J. S. Bach Orgelbüchlein (オルガン小曲集) より任意の1曲を演奏する。
- [B] 自由曲 任意の独奏曲を演奏する([A]の曲と重複しないこと。5分～10分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、8分程度でカットすることがある)。

※アシスタントが必要な場合は本学で用意する。試験当日にレジスタータイムを与える。

2. 副科ピアノ

Czerny Op.740 (ツェルニー 50番) より任意の1曲(暗譜の必要なし、繰り返しなし)。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の6曲の中から1曲を選び演奏する。ただし、器楽コース有鍵楽器オルガン専攻実技の自由曲と重複しないこと（暗譜の必要なし）。

J. S. Bach	Praeludium et Fuga	ハ長調 BWV531	ニ短調 BWV539
		ニ長調 BWV532	ト長調 BWV541
		イ長調 BWV536	イ短調 BWV543

使用するオルガンの仕様（事前に練習ができます）

Pedal		I. Hauptwerk		II. Schwellwerk		III. Solowerk	
1. Choralbass	4'	4. Mixtur	3f	9. Terz	1 3/5'	15. Klarinette	8'
2. Violon	8'	5. Larigot	1 1/3'	10. Octave	2'	16. Dolkan	8'
3. Subbass	16'	6. Blockflöte	2'	11. Quinte	1 2/3'		
		7. Principal	4'	12. Offenflöte	4'		
		8. Gedackt	8'	13. Rohrflöte	8'		
				14. Tremulant			

III/II III/I II/I III/P II/P I/P

【管楽器】

- * ヴィルトゥオーゾコースを志願する場合は、次の器楽コースの課題とヴィルトゥオーゾコースの課題の両方を受験すること。
- * すべての楽器とも伴奏なし、音階は暗譜で演奏。器楽コースの課題曲、ヴィルトゥオーゾコースの課題については暗譜の必要なし。特記された曲以外の版は自由。
- * ヴィルトゥオーゾコースにおける受験曲の演奏箇所は、当日試験場で指示する場合がある。

■フルート

【器楽コース】

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 すべての長調および短調(和声短音階)の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように2オクターブを長調はレガートで、短調はタンギングで演奏する(暗譜)。



- [B] 課題曲 次の7曲の中から1曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

C. J. Andersen 24 Studies Op.21 第2番、第4番、第10番、第24番(Schirmer版)

E. Köhler 12 medium difficult exercises Op.33の2 第5番、第8番、第10番

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

【ヴィルトゥオーゾコース】

次の[A][B]両方を[A][B]の順で演奏する。

- [A] A. B. Fürstenau 24 Übungen, Capricen und Präludien Op.125よりNo.4、No.8、No.10のいずれかを選び演奏する。
- [B] 次の1. から9. の中から1つを選び演奏する。

1. E. Bozza Image Op.38
2. S. Karg - Elert Sonata appassionata fis moll Op.140
3. S. Karg - Elert 30 Studies Op.107 No.30 (Chaconne)
4. J. Rivier Oiseaux tendres
5. L. Berio Sequenza I
6. C. Halffter Debla (Solo VI)
7. 一柳 慧 忘れ得ぬ記憶の中に
8. I. Yun Etüden より No.5
9. P. Hindemith 8 Stückeより1、2、3、5、6、8

■オーボエ

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の[A][B][C]を受験すること。

- A 音階** 次に指定する長調、短調 各8つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 B dur, H dur, C dur, Des dur, D dur, Es dur, E dur, F dur, b moll, h moll, c moll, cis moll, d moll,
 es moll, e moll, f moll (mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブをタンギングで演奏する(暗譜)。



B 課題曲 次の中から任意の1曲を選び演奏する。

Salviani Studi per Oboe Vol.2 C dur
 第2番、第3番、第4番、第5番、第6番、第7番、第8番

C 課題曲 次の中から任意の1曲を選び演奏する。

W. Ferling 48 Etüden 第17番、第25番、第33番
 L. Wiedemann 45 Etüden für Oboe 第9番、第12番、第13番、第29番、第30番

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の[A][B]両方を[A][B]の順で演奏する。

A 次の4曲の中から1曲を選び演奏する(繰り返しなし)。

G. P. Telemann 12 Fantasien für Flöteより第1番、第2番、第6番、第7番

B 次の4曲の中から1曲を選び演奏する(カデンツァなし)。

W. A. Mozart Konzert C dur KV314 第1楽章
 L. A. Lebrun Konzert Nr.1 d moll 第1楽章
 F. Krommer Konzert F dur Op.52 第1楽章
 F. J. Haydn Konzert C dur 第1楽章

■クラリネット

[器楽コース]

- B♭クラリネットが主であるが、Esクラリネット、Altoクラリネット、Bassクラリネットでも受験可能である。
 ただし、入学後はB♭クラリネットを中心にレッスンを行う。
- 音階は上記の楽器すべてに共通。

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- A 音階** 調号が♯・♭それぞれ3個までの長調および短調(和声短音階、旋律短音階のどちらでもよい)の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 譜例のように長調はレガートで、短調はスタッカートで演奏する(暗譜)。



B 課題曲 【B♭クラリネットで受験する者】

次の2曲の中から1曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

C. M. v. Weber Concertino Es dur Op.26
 C. Stamitz Konzert Nr.3 より 第1楽章および第2楽章

【Esクラリネット、Altoクラリネット、Bassクラリネットで受験する者】

次のエチュードの中から1曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示で指定する場
 合がある)。

C. Rose 32 Etudes

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の2曲の中から1曲を選び演奏する。

- C. M. v. Weber Konzert Nr.1 f moll Op.73 第1楽章および第2楽章
 C. M. v. Weber Konzert Nr.2 Es dur Op.74 第1楽章および第2楽章

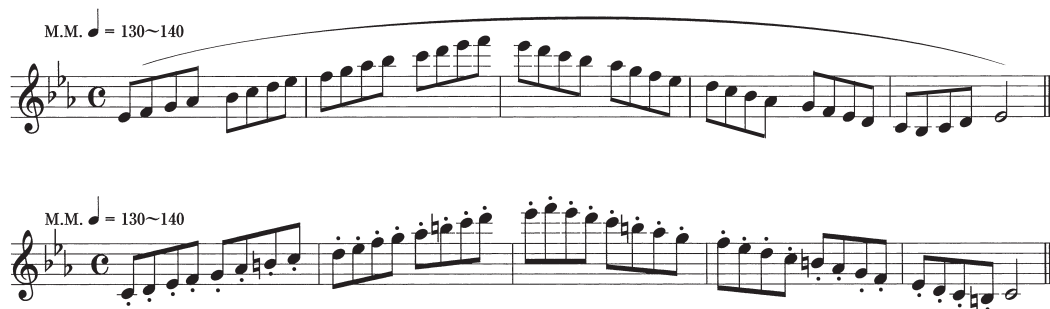
■サクソフォーン

[器楽コース]

- アルト・サクソフォーンが基本であるが、ソプラノ・サクソフォーン、テナー・サクソフォーン、バリトン・サクソフォーンのいずれの楽器でも受験可能である。ただし、入学後はアルト・サクソフォーンを中心にレッスンを行う。
- 音階と課題曲は上記の楽器すべてに共通。

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 すべての長調および短調(和声短音階)の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように長調はレガートで、短調はスタッカートで演奏する(暗譜)。



- [B] 課題曲 次の1. 2.の中からそれぞれ1曲ずつ選び、1. 2.の順で演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

- F. W. Ferling Enseignement du Saxophone 48 Etudes (A. Leduc 版)
 1. 第5番、第11番、第17番
 2. 第6番、第12番、第18番

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の5曲の中から1曲を選び演奏する。

- P. Creston Sonata Op.19
 P. Maurice Tableaux de Provence (H. Lemoine 版)
 D. Milhaud Scaramouche (Salabert 版)
 R. Boutry Divertimento (A. Leduc 版)
 A. Glazounov et A. Petiot Concerto en mi bémol (A. Leduc 版)

■ファゴット

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
譜例のように2オクターブを演奏する（暗譜）。



- [B] 課題曲 次の4曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された部分を演奏する。

J. Weissenborn Fagottstudien Op.8 第2巻 (Peters 版)
第4番、第8番、第13番、第15番

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の曲を演奏する。

C. M. v. Weber Konzert für Fagott und Orchester F dur Op.75 第1楽章および第2楽章

■ホルン

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各4つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
As dur, A dur, B dur, C dur, as moll, a moll, b moll, c moll（すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する）
譜例のように演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜）。



- [B] 課題曲 次の3曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

W. A. Mozart Konzert Rondo Es dur K.371
W. A. Mozart Konzert Nr.3 Es dur K.447 第1楽章（カデンツァなし）
Saint-Saëns Morceau de concert Op.94 より第1部（第2変奏まで）

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の2曲を記載順に演奏する。

W. A. Mozart Konzert für Horn und Orchester Nr.4 Es dur K.495 より 第1楽章および第2楽章
C. Kopprasch 60 Studiesより No.15

■トランペット

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

[A] 音階

次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

F dur, Ges dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, ges moll, g moll, as moll, a moll, b moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)

譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜)。

B♭管で演奏すること。

M.M. ♩ = 72 (Trumpet in B♭)

L'istesso Tempo

(この譜例は実音 F dur)

[B] 課題曲

次の4曲の中から1曲を選び演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

A. Corelli Sonata VIII Transcribed by R. Bernard Fitzgerald

第1楽章および第2楽章

S. Hering 28 Melodious and Technical Etudes (C. Fischer 版)

第1番 Allegro Moderato

第4番 Allegretto

T. Charlier 36 Études Transcendantes (A. Leduc 版)

第1番

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の1. 2. 3. の中から1つを選び、B♭管で演奏する。

1. T. Charlier 36 Études Transcendantes (A. Leduc 版)

第6番、第7番 記載順に演奏する。

2. V. Brandt Concertpiece No.2 Op.12

3. T. Charlier Solo de Concours (Schott 版)

■トロンボーン（テナーで受験する者）

【器楽コース】

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, Fis dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, fis moll, g moll, as moll, a moll, b moll（すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する）
 譜例のように2オクターブを演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜）。



[B] 課題曲 次の3曲の中から1曲を選び演奏する。

- C. Kopprasch 60 Studies Book I 第14番 Allegro (C. Fischer, 全音楽譜出版社 版)
 C. Kopprasch 60 Studies Book II 第48番 Adagio (第40小節まで)
 (C. Fischer, 全音楽譜出版社 版)
 A. Guilmant Concert piece (冒頭のAndante sostenutoから第26小節まで、および2回目のAllegro moderatoから最後まで) (Schott & Co. Ltd, International Music Company 版)

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

【ヴィルトゥオーゾコース】

次の曲を演奏する。
 E. Bozza Ballade

■トロンボーン（バスで受験する者）

【器楽コース】

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各5つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 D dur, Es dur, E dur, F dur, G dur, d moll, es moll, e moll, f moll, g moll（すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する）
 譜例のように2オクターブを演奏する（特にレガート、スタッカートの必要なし。暗譜）。



[B] 課題曲 次の3曲の中から1曲を選び演奏する（演奏箇所については、試験初日に掲示をする）。

- O. Blume 36 Studies for Trombone with F Attachment 第2番 へ長調 (C. Fischer 版)
 C. Kopprasch 60 Selected Studies for BB flat Tuba 第14番 Allegro
 (C. Fischer, R. King, Hofmeister 版)
 C. Kopprasch 60 Selected Studies for BB flat Tuba 第47番 Andante (第40小節まで)
 (R. King 版)

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

【ヴィルトゥオーゾコース】

次の曲を演奏する。
 E. Bozza New Orleans

III 学科(専攻)別課題
 第1年次入学者選抜課題【演奏学科】
 ヴィルトゥオーゾコース(管楽器)

■ユーフォニアム

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各6つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, Fis dur, G dur, As dur, A dur, B dur, f moll, fis moll, g moll, as moll, a moll, b moll (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートが必要なし。暗譜)。



[B] 課題曲 次の1. 2.の中からそれぞれ1曲ずつ選び、2曲を1. 2.の順で演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

1. ① J. B. Arban Method for Trombone Characteristic Studies 第1番
 ② C. Kopprasch 60 Studies 第22番
2. J. Rochut Melodious Etudes for Trombone Book I 第3番、第4番、第5番

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の2曲を1. 2.の順で演奏する。

1. C. Kopprasch 60 Studies 第33番(繰り返しなし)
2. P. V. De La Nux Concert piece Trombone or Baritone and Piano

■チューバ

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。

- [A] 音階 次に指定する長調、短調 各7つの調性の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
 F dur, G dur, A dur, B dur, C dur, D dur, Es dur, d moll, e moll, fis moll, g moll, a moll, h moll, c moll
 (すべて実音表記、mollはすべて和声短音階で演奏する)
 譜例のように2オクターブを演奏する(特にレガート、スタッカートが必要なし。暗譜)。



[B] 課題曲 次の1. 2.の中からそれぞれ1曲ずつ選び、2曲を1. 2.の順で演奏する(演奏箇所については、試験初日に掲示をする)。

1. C. Kopprasch 60 Studies 第7番、第14番、第22番
2. M. Bordogni 43 Bel Canto Studies 第2番、第3番、第10番

2. 副科ピアノ 54 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の曲を演奏する(C管またはB♭管で演奏すること)。

- A. Lebedjew Konzert Nr. 1

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。

ただし、長い場合はカットすることがある。

- | | |
|-----------------|--|
| 1. J. S. Bach | インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲 |
| 2. Kuhlau | ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章 |
| 3. Clementi | ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章 |
| 4. Dussek | ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章 |
| 5. Haydn | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| 6. W. A. Mozart | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| 7. Beethoven | ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章 |

【打楽器】

- * ヴィルトゥオーゾコースを志願する場合は、次の器楽コースの課題とヴィルトゥオーゾコースの課題の両方を受験すること。
- * すべての楽器とも音階は暗譜で演奏。器楽コースの課題曲、ヴィルトゥオーゾコースの課題については暗譜の必要なし。特記された曲以外の版は自由。
- * ヴィルトゥオーゾコースにおける受験曲の演奏箇所は、当日試験場で指示する場合がある。

■マリンバ

【器楽コース】

1. 専攻実技 次の[A][B][C]を受験すること。

A 小太鼓 次の中から当日試験場で指定する。響線を入れて演奏する。

小太鼓基本奏法「二つ打ち」
小太鼓基本奏法「五つ打ち」

B 音階〔マリンバ〕

すべての長調および短調（和声短音階）の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。譜例のように演奏する（暗譜）。

C 課題曲〔マリンバ〕

次の8曲の中から2曲を選び、記載順に演奏する。マレットの選択はすべて自由。

- J. S. Bach Sonaten und Partiten für Violine Solo BWV 1001-1006 (Peters 版)
- Sonata I より Adagio (第13小節1拍目まで)
 - Fuga Allegro (第36小節2拍目まで)
 - Presto (第54小節まで。繰り返しなし)
 - Partita III より Preludio (第66小節まで)

三善 晃 組曲「会話」より

1. やさしいお話
2. よかったね、あれ……を何回も
3. いつまでも くやしい
5. つじつまのあわない報告

2. 副科ピアノ 57 ページを確認のこと。

【ヴィルトゥオーゾコース】

自由曲を演奏する（10分以上15分以内。複数曲も可）。

ただし、器楽コースマリンバ専攻実技の課題曲として記載されている曲をすべて除く。

なお、楽譜（1部）を出願書類とともに提出すること。

■打楽器

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の[A][B][C]を受験すること。

[A] 音階 [マリンバ]

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。

C dur, G dur, D dur, A dur, F dur, B dur, Es dur

譜例のように演奏する (暗譜)。



[B] 小太鼓

次の中から当日試験場で指定する。響線を入れて演奏する。

小太鼓基本奏法「二つ打ち」

小太鼓基本奏法「五つ打ち」

[C] 課題曲 [小太鼓]

次の1. 2. 両方を受験すること (1. 2. の順で演奏する)。

1. 次の4曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された2曲を、下記に示したテンポで演奏する (繰り返しなし)。

W. F. Ludwig Collection (of) Drum Solos

Dedekii (D.S. あり) ♩ = 92 ~ 100

Capt. Whiting's ♩ = 112 ~ 120

The Guard of The Standard ♩ = 112 ~ 120

Fancy $\frac{6}{8}$ ♩ = 88 ~ 96

2. 次の4曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された1曲を演奏する。

A. J. Cirone Portraits in rhythm (Belwin Mills 版)

第3番、第6番、第13番、第50番

2. 副科ピアノ 57 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の[A][B]両方を演奏する。

[A] 次の10曲の中から当日試験場で指定された2曲を演奏する。

すべて ♩ = 112 ~ 120 で演奏する。ただし、 $\frac{6}{8}$ 拍子の曲は、♩ = 88 ~ 96 のテンポで演奏すること。

C. Wilcoxon The All-American Drummer 150 Rudimental Solos

第1番、第2番、第3番、第4番、第5番、第6番、第7番、第9番、第10番、第19番

[B] 次の3曲の中から1曲を選び演奏する。

B. Lylloff Aarhus etude No.9

A. Masson Prim for snare drum (Bim 版)

北爪 道夫 Side by side (新・旧どちらのバージョンも可)

■ティンパニ

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の[A][B][C][D]を受験すること。

[A] 音階 [マリンバ]

次の長調の中から、当日試験場で演奏する調を指定する。
C dur, G dur, D dur, A dur, F dur, B dur, Es dur
譜例のように演奏する (暗譜)。



[B] 小太鼓

次の中から当日試験場で指定する。響線を入れて演奏する。
小太鼓基本奏法「二つ打ち」
小太鼓基本奏法「五つ打ち」

[C] ティンパニ

ティンパニのチューニング (当日ピアノで与えた音程を作ること)
ティンパニの基本奏法 ロール *pp* < *ff* > *pp* (約30秒)

[D] 課題曲 [ティンパニ]

次の7曲を準備し、その中から試験初日に掲示により指定された2曲を演奏する (音程はピアノで与える)。

R. Hochrainer Etudes for Timpani Vol.1 (Doblinger 版)
第13番、第32番、第34番、第36番、第40番、第42番、第45番

2. 副科ピアノ 下記を確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の4曲を記載順に演奏する (最初の曲の音程をピアノで与える)。

R. Hochrainer Etudes for Timpani Vol.2 (Doblinger 版)
第11番、第14番、第54番、第50番

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する (暗譜の必要なし、繰り返しなし)。
ただし、長い場合はカットすることがある。

- | | |
|-----------------|--|
| 1. J. S. Bach | インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲 |
| 2. Kuhlau | ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章 |
| 3. Clementi | ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章 |
| 4. Dussek | ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章 |
| 5. Haydn | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| 6. W. A. Mozart | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| 7. Beethoven | ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章 |

【弦楽器】

- * ヴィルトゥオーゾコースを志願する場合は、次の器楽コースの課題とヴィルトゥオーゾコースの課題の両方を受験すること。
- * ヴィルトゥオーゾコースの課題については、すべての楽器とも暗譜、繰り返しなしで演奏。
- * ヴィルトゥオーゾコース課題の試験時における伴奏について、ピアノ伴奏のある曲で受験する場合は、伴奏なしで受験しても構わない。伴奏つきで受験する場合は、伴奏者および譜めくりを試験当日必ず各自で同行すること（ただし、本学園に勤務する大学教職員を除く）。伴奏の有無は採点には加味されない。

■ヴァイオリン

【器楽コース】

1. 専攻実技 次を受験すること。

任意の協奏曲より第1楽章または終楽章を演奏する。演奏時間は7分程度とする（暗譜、伴奏なし、繰り返しなし、時間を越えた場合はカットする）。

2. 副科ピアノ 60 ページを確認のこと。

【ヴィルトゥオーゾコース】

次の[A]から[D]を[A][B][C][D]の順に演奏する。

受験に際しては、上記の注記(*)を参照のこと。

- [A] Carl Flesch : Scale Systemより任意の調を選び、第5番の12小節まで、第6番、第7番、第8番のそれぞれ4小節までを演奏する。スラーはハ長調のものと同様に演奏をする。運指は自由とし、楽譜の版はC. Fischer 版とする。
- [B] J. S. Bach 無伴奏ソナタ、無伴奏パルティータの中から1つの楽章
- [C] Paganini 24のカプリス Op. 1の中から1曲、またはそれと同程度のエチュード、カプリスの中から1曲
- [D] 任意の協奏曲より第1楽章または終楽章（演奏時間は10分程度とする。この時間を越えた際は、カットする場がある。）

■ヴィオラ

【器楽コース】

1. 専攻実技 次を受験すること。

任意の協奏曲より1つの楽章（緩徐楽章は不可）、またはそれと同程度の自由曲を演奏する。演奏時間は7分程度とする（暗譜、伴奏なし、繰り返しなし、時間を越えた場合はカットする）。

2. 副科ピアノ 60 ページを確認のこと。

【ヴィルトゥオーゾコース】

次の[A]から[C]を[A][B][C]の順に演奏する。

受験に際しては、上記の注記(*)を参照のこと。

- [A] Carl Flesch : Scale Systemより任意の調を選び、第5番の12小節までを演奏する。スラーはハ長調のものと同様に演奏する。運指は自由とし、楽譜の版は問わない。
- [B] 次の1. 2. のいずれかを選び演奏する。
 1. J. S. Bach 無伴奏チェロ組曲第1番から第6番の中から1つの楽章（ヴィオラに編曲されたもの）
 2. Campagnoli 41のカプリス Op.22の中から1曲、またはそれと同程度のエチュード、カプリスの中から1曲
- [C] 任意の協奏曲より第1楽章または終楽章（演奏時間は10分程度とする。この時間を越えた際は、カットする場がある。）

■チェロ

[器楽コース]

1. 専攻実技 次を受験すること。

任意の協奏曲、ソナタまたは独奏曲（必ず速い楽章を含むこと。同一楽曲からの複数の楽章も可）を演奏する。演奏時間は5分～7分程度とする（暗譜、伴奏なし、繰り返しなし、時間を超えた場合はカットする）。

2. 副科ピアノ 60 ページを確認のこと。

[ヴィルトゥオーソコース]

次の[A]から[C]を[A][B][C]の順に演奏する。

受験に際しては、58ページの注記(*)を参照のこと。

- [A] 任意の調を選び3オクターブの音階を演奏する。速度、運指は自由とし、譜例のようにスラーをつけて演奏する。

例

The image shows a musical example for exercise A, consisting of four staves of music in bass clef. The first staff is in 4/4 time and starts with a square box containing the number 4. It features a three-octave scale starting on G2, with a fermata over the final G4. The second staff continues the scale in 3/4 time, with a fermata over the final G4. The third staff continues the scale in 3/4 time, with a fermata over the final G4. The fourth staff continues the scale in 3/4 time, with a fermata over the final G4.

- [B] 次の1. 2. のいずれかを選び演奏する。

1. J. S. Bach 無伴奏組曲第1番から第6番の中から1つの楽章
2. Duport エチュード、またはそれと同程度のエチュードの中から1曲

- [C] 任意の協奏曲より第1楽章または終楽章（演奏時間は10分程度とする。この時間を超えた際は、カットする場合がある。）

■コントラバス

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の[A][B]を受験すること。

受験に際しては、[A][B]の順で演奏すること（暗譜の必要なし、伴奏なし、繰り返しなし）。

- [A] 音階** 任意の調を選び2オクターブの音階を演奏する。
速度、運指は自由とし、譜例のようにスラーをつけて演奏する。

例



- [B]** 1. 2. のいずれかを選び演奏する。
1. 任意の協奏曲の中から第1楽章、または第3楽章
2. 任意のソナタの中から第1楽章および第2楽章

2. 副科ピアノ 下記を確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の[A][B]を[A][B]の順で演奏する。
受験に際しては、58ページの注記(*)を参照のこと。

- [A]** O. Ruhm Progressive Etüden für Kontrabass Heft 2 の中から1曲（Doblinger版）
[B] 任意の協奏曲の第1楽章および第2楽章、または第2楽章および第3楽章（演奏時間は10分程度とする。この時間を超えた際は、カットする可能性がある。）

■ハープ

[器楽コース]

1. 専攻実技 次の2曲を任意に選び演奏すること（暗譜、繰り返しなし）。

練習曲 1曲（演奏時間は3分程度。この時間を超えた場合はカットする。）
独奏曲 1曲（演奏時間は7分程度。この時間を超えた場合はカットする。）

2. 副科ピアノ 下記を確認のこと。

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の[A][B]を[A][B]の順で演奏する。
受験に際しては、58ページの注記(*)を参照のこと。

- [A]** Nadermann Sept Sonatinas Progressives の中の任意の1曲（全楽章）
[B] 任意の独奏曲（ソナタでも可。演奏時間は10分程度とする。この時間を超えた際は、カットする可能性がある。）

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。
ただし、長い場合はカットすることがある。

- | | |
|-----------------|--|
| 1. J. S. Bach | インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲 |
| 2. Kuhlau | ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章 |
| 3. Clementi | ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章 |
| 4. Dussek | ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章 |
| 5. Haydn | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| 6. W. A. Mozart | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| 7. Beethoven | ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章 |

【音楽】

* ヴィルトゥオーゾコースを志願する場合は、次の音楽コースの課題とヴィルトゥオーゾコースの課題の両方を受験すること。

【音楽コース】

1. 専攻実技 次の[A][B]両方を受験すること。本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。
 なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。

A 課題曲 次の1.および2.を1.2.の順に演奏すること。調性は指定の中から選ぶこと。

1. 次の20曲の中から2曲を準備し、その中から当日試験場で指定された1曲を演奏する(原語、暗譜)。

・ Beethoven	Ich liebe dich	ホ長調	へ長調	ト長調	
・ Schubert	An die Musik	ハ長調	ニ長調		
・ Schubert	Frühlingsglaube	変ト長調	変イ長調		
・ Schumann	Die Lotosblume	変ホ長調	へ長調		
・ Rosa (Mancia)	Star vicino	ホ長調	ト長調	イ長調	変ロ長調
・ Rosa	Vado ben spesso cangiando loco	変イ長調	イ長調	変ロ長調	ハ長調
・ Caccini	Amor ch'attendi	ホ長調	ト長調	イ長調	
・ A. Scarlatti	Se tu della mia morte	ホ短調	へ短調	ト短調	
・ A. Scarlatti	Sento nel core	ニ短調	ホ短調	へ短調	ト短調
・ A. Scarlatti	Già il sole dal Gange	へ長調	ト長調	変イ長調	変ロ長調
・ A. Scarlatti	Le violette	へ長調	変イ長調	変ロ長調	ロ長調
・ Gasparini	Lasciar d'amarti	ニ短調	へ短調	ト短調	
・ Gasparini	Caro laccio	変ニ長調	変ホ長調	へ長調	
・ Caldara	Sebben, crudele	ハ短調	ニ短調	ホ短調	
・ Durante	Vergin, tutto amor	ロ短調	ハ短調	ニ短調	
・ Paisiello	Nel cor più non mi sento	変ホ長調	ホ長調	へ長調	ト長調
・ Giordani	Caro mio ben	ニ長調	変ホ長調	へ長調	
・ Bellini	Ma rendi pur contento	変ト長調	変イ長調		
・ Bellini	Vaga luna, che inargenti	変イ長調	ハ長調		
・ Tosti	Sogno	変イ長調	変ロ長調		

2. 次の12曲の中から1曲を選び演奏する(暗譜)。

・ 瀧 廉太郎	荒城の月(1番、2番のみ)	変ロ短調	ハ短調	ニ短調
・ 山田 耕筈	赤とんぼ(1番、2番のみ)	変ホ長調	へ長調	
・ 山田 耕筈	この道(1番、2番のみ)	ニ長調	ホ長調	へ長調
・ 信時 潔	北秋の	変ロ長調	ハ長調	ニ長調
・ 信時 潔	行々子	ニ長調	ホ長調	嬰へ長調
・ 成田 為三	浜辺の歌(1番、2番のみ)	へ長調	変イ長調	イ長調
・ 小松 耕輔	母	へ長調	変イ長調	イ長調
・ 平井康三郎	平城山	ト短調	イ短調	
・ 平井康三郎	びいでびいで(繰り返しなし)	ト長調	イ長調	
・ 平井康三郎	ゆりかご	ニ長調	ホ長調	
・ 中田 喜直	むこうむこう	変ホ長調	へ長調	
・ 中田 喜直	風の子供	変ニ長調	ニ長調	

B 自由曲 **A 課題曲** 1. 2.に記載された以外の1曲を演奏する(5分以内の曲、原語、暗譜)。

5分を超えた場合は演奏の途中でカットすることがある。本学で選任した者による伴奏を必要とする場合のみ伴奏楽譜を出願書類とともに提出すること。自由曲で伴奏者に特別な指示(プレス等)が必要な場合は赤で記入可。

2. 副科ピアノ

次の曲の中から1曲を選び演奏する（暗譜の必要なし、繰り返しなし）。
ただし、長い場合はカットすることがある。

- | | |
|-----------------|--|
| 1. J. S. Bach | インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲 |
| 2. Kuhlau | ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章 |
| 3. Clementi | ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章 |
| 4. Dussek | ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章 |
| 5. Haydn | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| 6. W. A. Mozart | ソナタ 第1楽章または終楽章 |
| 7. Beethoven | ソナタ Op.2-1からOp.79までの第1楽章または終楽章 |

[ヴィルトゥオーゾコース]

次の[A][B][C]の指示に従って演奏する（暗譜）。本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。
なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。
本学で選任した者による伴奏を必要とする場合のみ[A][B][C]とも伴奏楽譜を出願書類とともに提出すること。

- [A] 課題曲** 下記の作曲家の中から異なる作曲家の曲を2曲準備し、その中から当日試験場で指定された1曲を演奏する。歌曲に限る。調性は自由とする。ただし、声楽コースの課題曲として記載されているすべての曲および自由曲として選んだ曲を除く。

Händel, Haydn, W. A. Mozart, Schubert, Mendelssohn, Schumann, Brahms, Wolf, Strauss, Monteverdi, A. Scarlatti, Gasparini, Vivaldi, Pergolesi, Rossini, Donizetti, Bellini, Verdi, Tosti, Puccini, Donaudy, Respighi, Cimara, Lully, Fauré, Debussy, Tchaikovsky, Rachmaninoff

- [B] 課題曲** 下記の作曲家の中から異なる作曲家の曲を2曲準備し、その中から当日試験場で指定された1曲を演奏する。歌曲に限る。調性は自由とする。ただし、声楽コースの課題曲として記載されているすべての曲および自由曲として選んだ曲を除く。

瀧 廉太郎、小松耕輔、山田耕筰、信時 潔、弘田竜太郎、成田為三、高田三郎、平井康三郎、中田喜直、別宮貞雄、團 伊玖磨、小林秀雄、木下牧子

- [C] 自由曲** 7分以内のオペラ、コンサートアリア、オラトリオ、カンタータから1曲を演奏する。
ただし、声楽コースの課題曲として記載されているすべての曲および自由曲として選んだ曲を除く。

第3年次入学者選抜課題

【演奏学科】

器楽コース

【有鍵楽器(ピアノ)】

専攻実技 次の1.および2.(暗譜、繰り返しなし)

1.と2.の両方を続けて演奏する(演奏順は自由)。

1. Chopin エチュード集 Op.10 または Op.25 から任意の1曲(ただし、Op.10-6 および Op.25-7 を除く)
2. 任意の独奏曲(同一作曲家で複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。なお、Chopin エチュードを除く。8分程度でカットすることがある)

【有鍵楽器(オルガン)】

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 専攻実技 次の(1)および(2)(暗譜の必要なし、繰り返しなし)

- (1) J. S. Bach Schübler-Choräle BWV645 から BWV650 までの任意の1曲
- (2) 自由曲(5分~10分程度。複数曲も可。ソナタからの楽章の抜粋および組曲等からの抜粋も可。ただし、8分程度でカットすることがある)

※アシスタントが必要な場合は本学で用意する。試験当日にレジスタータイムを与える。

使用するオルガンの仕様 (事前に練習ができます)

Pedal		I. Hauptwerk		II. Schwellwerk		III. Solowerk	
1. Choralbass	4'	4. Mixtur	3f	9. Terz	1 3/5'	15. Klarinette	8'
2. Violon	8'	5. Larigot	1 1/3'	10. Octave	2'	16. Dolkan	8'
3. Subbass	16'	6. Blockflöte	2'	11. Quinte	1 2/3'		
		7. Principal	4'	12. Offenflöte	4'		
		8. Gedackt	8'	13. Rohrflöte	8'		
				14. Tremulant			

III/II III/I II/I III/P II/P I/P

2. 副科ピアノ 任意の1曲(暗譜の必要なし、繰り返しなし。4分半程度でカットすることがある)

【管楽器】

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 専攻実技 練習曲1曲および自由曲1曲 計2曲(10分程度、伴奏なし、暗譜の必要なし)

2. 副科ピアノ 64ページを確認のこと。

【打楽器】

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 専攻実技 自由曲(10分程度、曲数は問わない。伴奏なし、暗譜の必要なし)

*任意の用紙(A4サイズ、横書き)に受験者氏名、使用楽器の種類、数および楽器等の配置を記入して、出願書類とともに提出すること。

2. 副科ピアノ 64ページを確認のこと。

【弦楽器】

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

すべての弦楽器とも、ピアノ伴奏のある曲で受験する場合は、試験当日必ず伴奏者を同行すること(本学園に勤務する大学教職員は不可)。

1. 専攻実技 練習曲1曲および自由曲1曲 計2曲(10分程度、暗譜、繰り返しなし)
2. 副科ピアノ 下記を確認のこと。

【声乐コース】

1. 専攻実技、2. 副科ピアノを受験すること。

1. 専攻実技 オペラ、コンサートアリア、オラトリオまたはカンタータのアリア1曲および自由曲1曲 計2曲(暗譜、演奏順は自由)
本学で選任した者が伴奏をするが、事前の伴奏合わせは行わない。なお、希望により、伴奏者を同行することもできるが、本学園に勤務する大学教職員は不可。
*受験曲届の記入に際しては、作曲者名、演奏曲目(オペラ等のタイトルおよびアリア名)を原語で記入すること。
2. 副科ピアノ 下記を確認のこと。

2. 副科ピアノ

【器楽コース(管楽器・打楽器・弦楽器)・声乐コース】

次の曲の中から1曲を選び演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし。3分半程度でカットすることがある)。

1. J. S. Bach インヴェンションより1曲、またはシンフォニアより1曲
2. Kuhlau ソナチネ Op.20-No. 1、2、3 Op.55-No. 1、2、3の中から第1楽章
3. Clementi ソナチネ Op.36-No. 1、2、3、4、5、6の中から第1楽章
4. Dussek ソナチネ Op.20-No. 1 第1楽章
5. Haydn ソナタ 第1楽章または終楽章
6. W. A. Mozart ソナタ 第1楽章または終楽章
7. Beethoven ソナタ Op.2-1 から Op.79 までの第1楽章または終楽章

【音楽総合学科】

作曲コース

次の1. 2. 3.を受験すること。

1. 専攻課題 次の(1)および(2)

(1) 和声 ソプラノ課題またはバス課題(3時間)。

例題

(2) 作品提出 任意の楽曲1曲。楽譜提出を基本とし、音源(オーディオCD)を添えても良い。受験者氏名を記入し、出願書類とともに提出すること。

2. 口頭試問 「1. 専攻課題 (1)および(2)」に関する質問が中心となる。

3. 実技(ピアノ) 任意の1曲を演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし。4分半程度でカットすることがある)。

音楽学コース

次の1. 2. 3. 4.を受験すること。

1. 課題小論文(90分) 音楽を主題とする日本語の小論文を課し、文章表現力・論理的思考力を判定する。

2. 口頭試問 上記「1. 課題小論文」および音楽全般に関する基本的な事柄について試問する(日本語)。

3. 英文和訳(90分) 英語の文章を日本語に翻訳する。

※語学辞書の使用可。ただし、電子辞書の使用は認めない。

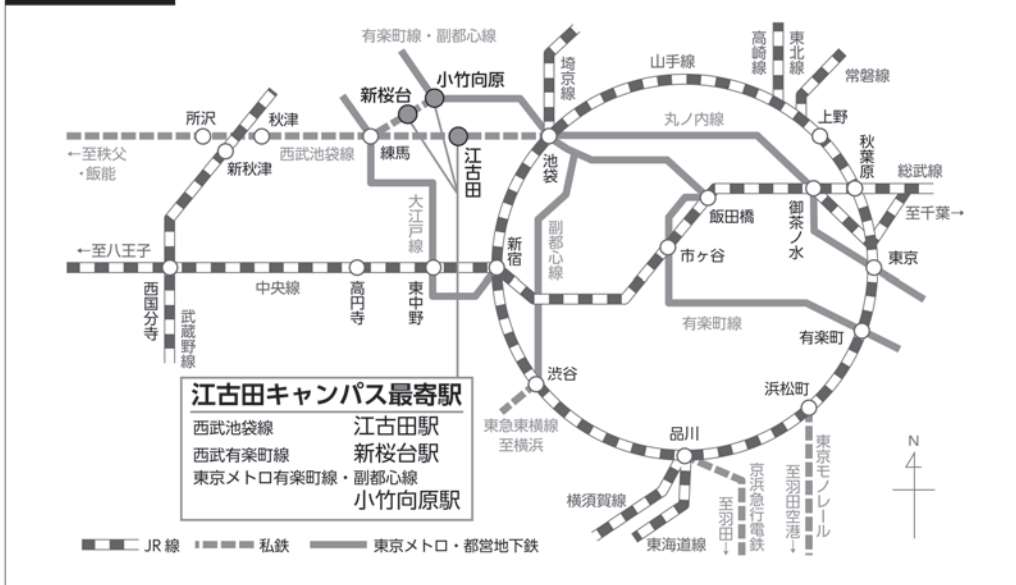
4. 実技(器楽) 次のa), b)のいずれか1つを選択する。

a) ピアノ — 任意の独奏曲または練習曲1曲を演奏する(暗譜の必要なし、繰り返しなし。3分半程度でカットすることがある)。

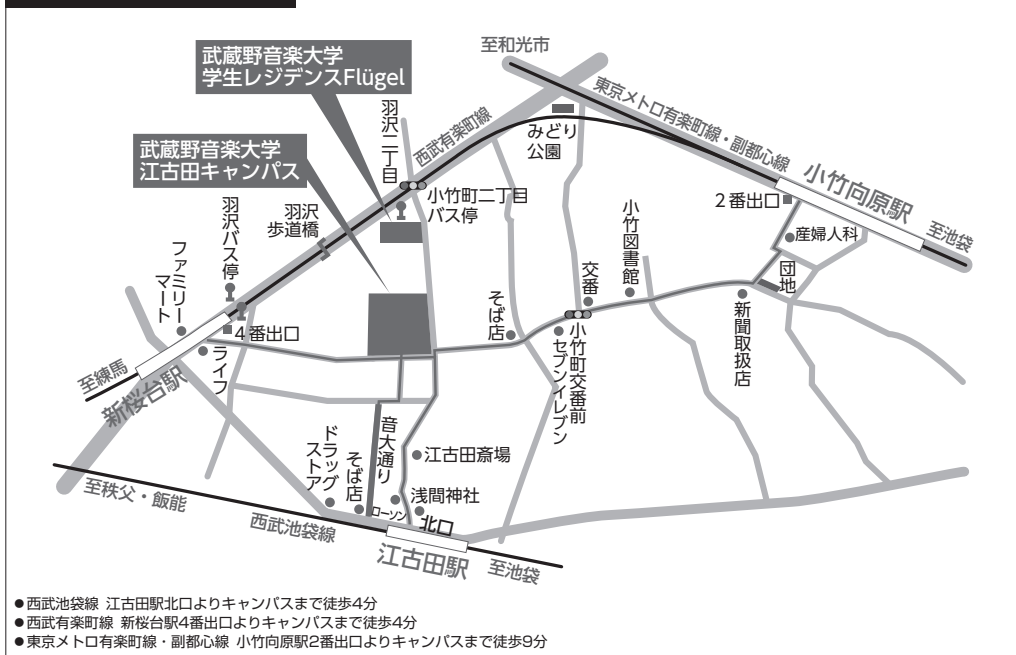
b) オルガン、管楽器、打楽器、弦楽器 — 次の楽器の中から1つを選び、3分程度の任意の独奏曲を演奏する(複数曲も可、伴奏なし)。

オルガン、フルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォーン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、マリンバ、打楽器、ティンパニ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ

交通案内



江古田キャンパス



問い合わせ先

問い合わせ先	問い合わせ内容	電話番号
入学者選抜事務室[学務課]	入学者選抜全般について	03-3992-1119
学生・就職課	奨学金、学生レジデンス Flügel について	03-3992-1129
経理課	授業料、納入金、学生レジデンス Flügel 入居費等の納入について	03-3992-1254
広報室	入学者選抜要項請求について	03-3992-1125

武蔵野音楽大学

えこだ 江古田キャンパス 〒176-8521 とうきょうとねりまくはざわ 東京都練馬区羽沢 1-13-1

武蔵野音楽大学ウェブサイト <https://www.musashino-music.ac.jp/>

